

Copyright 日本建築学会

清國

至自種
青陽

第四卷



欽天山老君洞清遊之四

第四冊

目次

重慶府(巴縣)

自長壽縣

自巫山縣

自宜昌府

漢口

附武昌及漢陽

長沙府(長沙縣)

衡陽府(衡陽縣)

常德府(常德縣)

岳陽府(岳陽縣)

汝州府(汝州縣)

荊州府(荊州縣)

安慶府(安慶縣)

蕪湖府(蕪湖縣)

黃州府(黃州縣)

漢陽府(漢陽縣)

蕪湖府(蕪湖縣)

蕪湖府(蕪湖縣)

蕪湖府(蕪湖縣)

蕪湖府(蕪湖縣)

一頁	十一頁	二十二頁	二十六頁	二十八頁	七十八頁	八十三頁	九十四頁	百一十二頁	百十四頁	百十五頁	百十八頁	百廿六頁	百三十七頁	百四十六頁	百四十八頁	百四十九頁
----	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------

附因目次
 (一) 自梧州至忠州
 (二) 自忠州至涪州
 (三) 自涪州至梧州
 (四) 自梧州至柳州
 (五) 自柳州至梧州
 (六) 自梧州至柳州
 (七) 自柳州至梧州
 (八) 自梧州至柳州
 (九) 自柳州至梧州
 (十) 自梧州至柳州

四頁 自忠州至涪州
 三頁 自涪州至梧州
 二頁 自梧州至柳州
 二頁 自柳州至梧州
 二頁 自梧州至柳州
 二頁 自柳州至梧州
 二頁 自梧州至柳州
 二頁 自柳州至梧州
 二頁 自梧州至柳州
 二頁 自柳州至梧州

一頁
 二頁
 三頁
 四頁
 五頁
 六頁
 七頁
 八頁
 九頁
 十頁

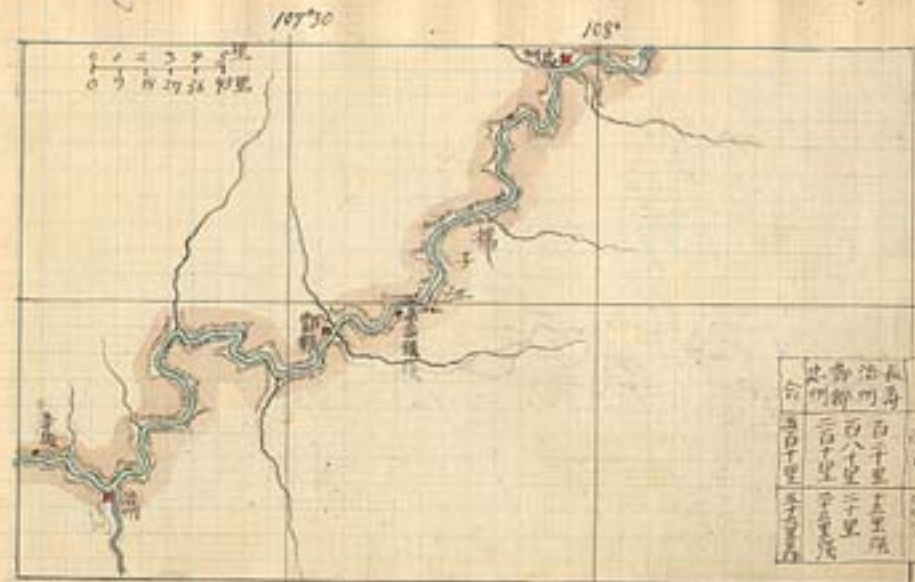
老君洞の南望



墳墓

○老君洞

重慶城ヨリ江ヲ距テ南方十五里ニ在リ、
 一帯ノ崗密ノ中ニ一ノ円錐狀ヲナセル樹木ノ
 鬱蒼タル峻峯ノ岫立スルモノコレナリ江ヲ渡
 レバ直チニ山路ナリコレノ辺栢樹ノ羨シキ円
 錐形ヲナスモノ所々ニ生セリ、又墳墓多シ
 多クハ蹄鉄形ニ石ヲ繞ラシ其中ニ屍ヲ
 藏メ前ニ石ヲ以テ布ケル平ナル所アリ、
 吊者コ、コレ働ス、又コレ平地ノ上ニ卓
 ト腰カケノ如キモノ(石造)ヲ備ヘタルモアタ
 老君洞ハ松樹ノ林中ニアリ建築トシテ
 大ニ價値アルニ非サルモ、地勢ノ高低ニヨリテ
 建築ヲ巧ニ措置セリ
 アスベクト及プロスベクト
 ノ為ニ計画セルモノト云
 スベシ。



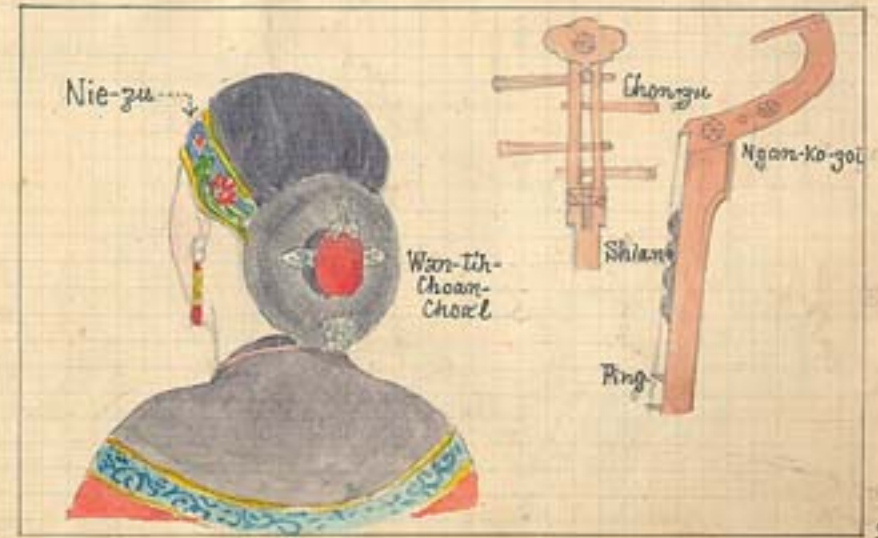
第三十六號



石寶寨

姓唐、年十七、アマライツ姫

蘇州名物
唱婦



唐船



鐵船



人口凡一萬內
 ①長壽
 ②涪州
 人口凡一萬余
 ③鄧都
 人口凡七八千
 ④忠州(人口一萬以內)
 石室塞アリ頗多奇觀ナリ
 ⑤萬縣
 人口凡三萬高位ト稱ス
 ⑥雲陽(人口五六千)
 對岸ニ美ル閨帝廟アリ
 ⑦夔州(人口五萬五千位)
 白帝城ノ古趾アリ東ニ瞿塘峽アリ





兵書峽



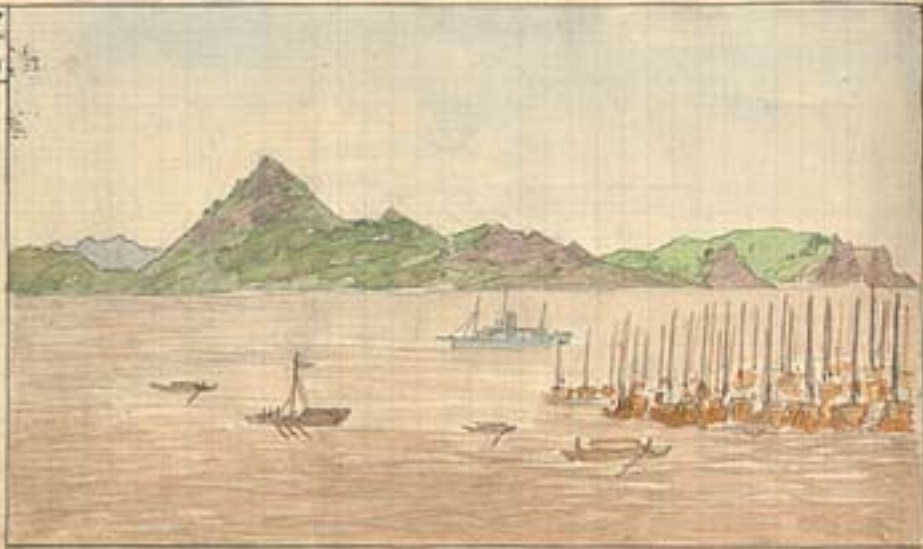
17



第二十八號

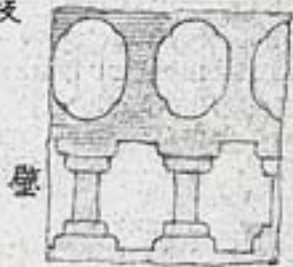
16

宜昌



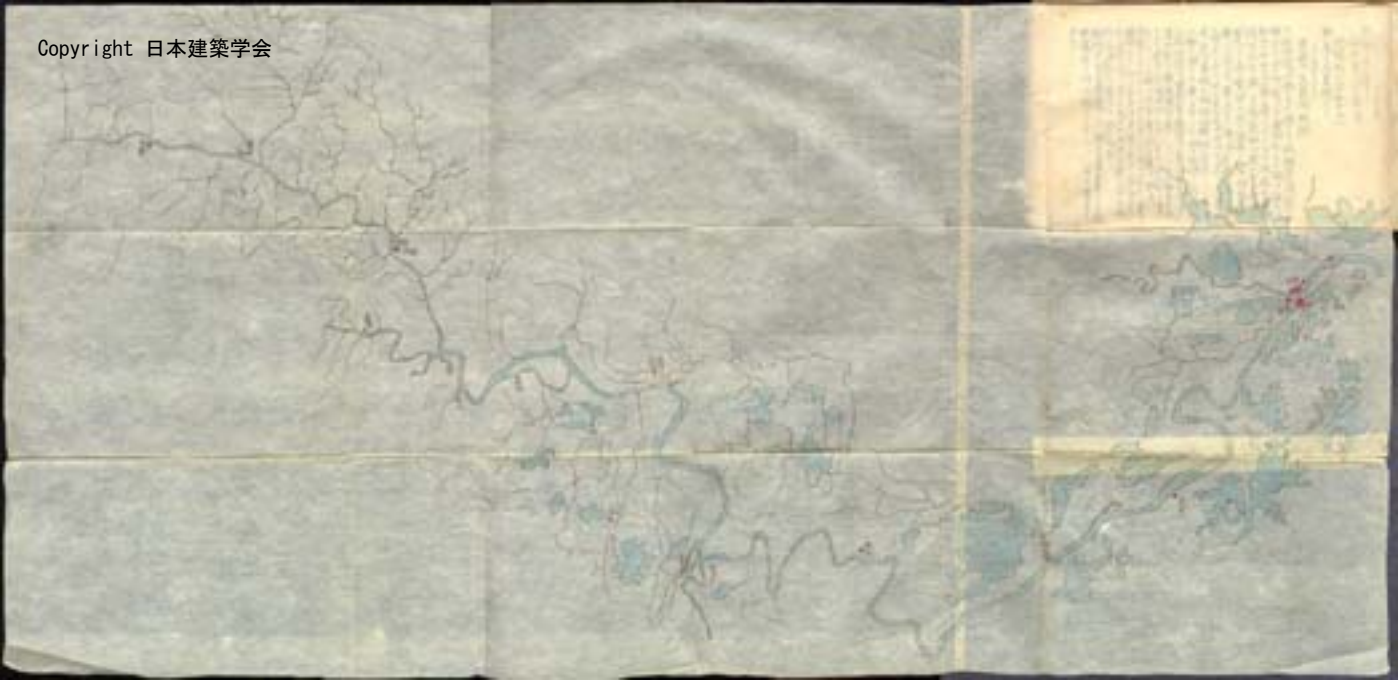
新港





⑪ 宜昌(人口二萬以内ナルニ)
○ 民家ノ牆壁

ノ種ノキルデシテ尤モ多シ





⑧ 巫山 (人口三千斗)

鄧東口巫山峽アリ

⑨ 巴東 (人口三千斗)

鄧東之兵書峽アリ

重慶、宜昌間航路

フ間所謂三峽アリ三灘アリ航路尤モ險惡アリ
 峽ノ尤モ狹キ所、幅三十命間而シテ船ヲ通スル
 部ハ中央五六間ノ處ノミナリアリ河底巨岩多
 横水流之、激シテ或ハ逆流シ或ハ一タヒ河底
 潛入レテ再ヒ噴出シ、或ハ漏斗ノ如ク河底ニ回
 旋シテ浸入ス、夏七八月ノ頃水尤モ多ク冬一二月
 ノ頃尤モ少ク水ノ差六七尺乃至九十尺或ハ百
 尺ニ至ル、春秋ハ航路比較的安ナルモ冬夏
 ハ極テ險ナリ、舟大中ノ一ハ必ズ坐礁シ或ハ破壊
 シ或ハ沈没ス、宜昌重慶間長サ凡チ七百清
 里、下航ニハ輕舟(五枚子)ナレバ三日乃至五日
 ミレテ達ス、冬々間水少ク六八日乃至九日ヲ費
 ストアリ、上航ハ引子舟ヲ引テ進ム、輕舟ハ
 冬間水少キト十八日乃至二十日ヲ費ス、夏
 時水多クケレバ、三十日乃至四十日ヲ費スルコトアリ
 大ナル客船ハ四十人五十人以上ニテ船ヲ引タ航
 行自子更ニ長キヲ要スベシ、
 航路中尤モ危險ナルハ灘ナリ、水多キトハ宛
 然瀑布ノ如ク、船ノコレヲ上ルニ一日ヲ費ス
 アリ、

⑬ 沙市

荊州ヲ去ル約我カニ里ニテ人口六七萬ナルベシ
 古塔二基アリ、七層、傳ヘテ千年以前ノモノ
 ト稱ス、視察ノ時閉ヲ得ス、故ニ説無シ

本

○ 英國 *London Missionary Society* 會社
 宜昌漢口河内等處及貨物貨表
 宜昌—沙市 360 里
 沙市—岳州 550
 岳州—新堤 150
 新堤—漢口 360
 14250 = 4000

Yangtze

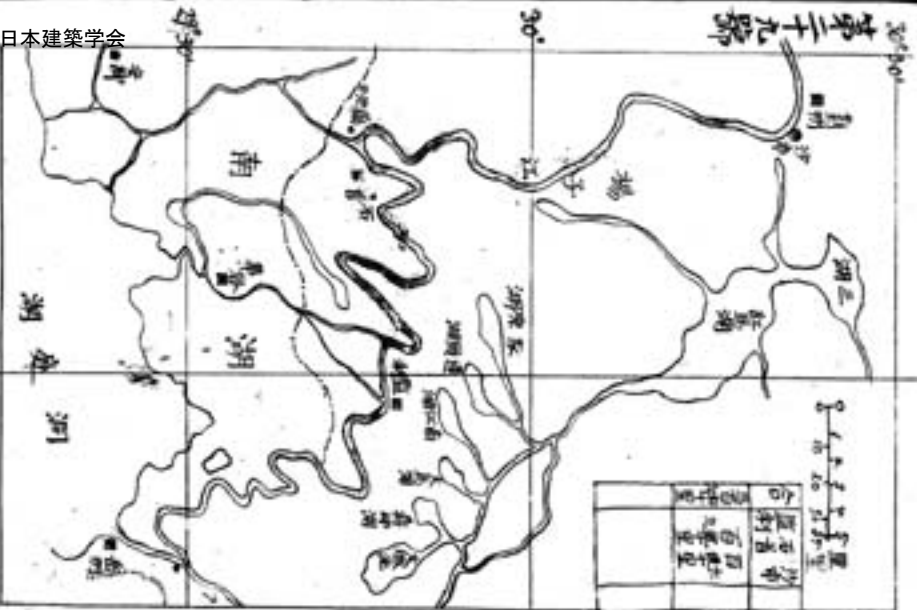
貨物表 (下等) 一兩ヲ單位トス

漢口	60	新堤	90
岳州	110	沙市	120
宜昌	160	宜昌漢口間	360

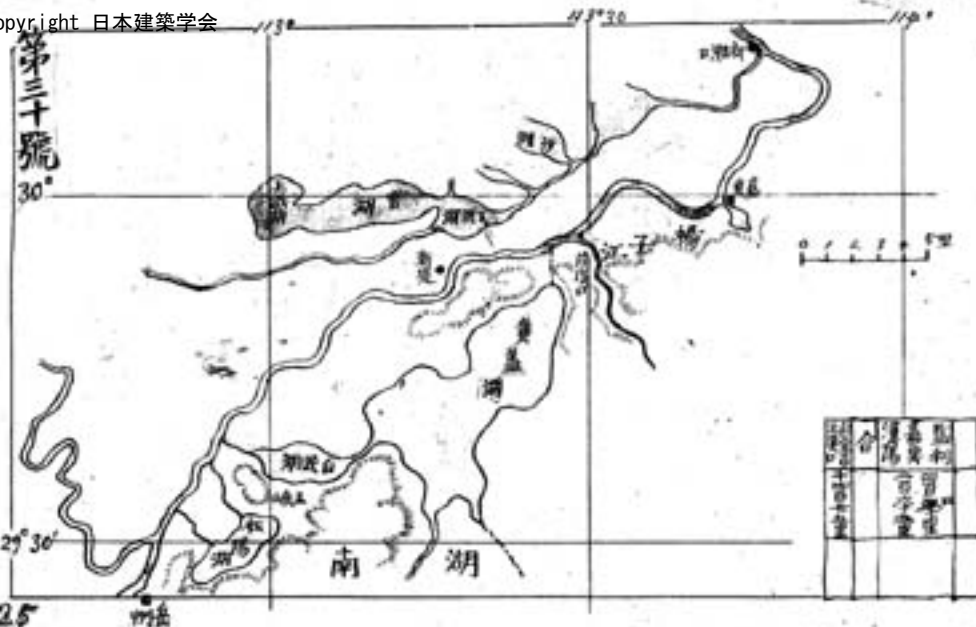
一等宜昌漢口間 三十兩
 支那人一等一石 十兩

ローソク外日午商船会社 英 *W. & A. Field & Co. Ltd.*
 本船ノ初高崎ノ航アリ、航賃毎トニ同小果ナラバ口午
 航賃減シ、モトラ客ヲ運スルニトモ、深江トナルニ坪ナリ

第三十九號



宜昌	漢口	沙市
160	360	120
宜昌漢口間	宜昌漢口間	宜昌漢口間
360	360	360



第三十號

○支那南北建築ノ比較

- 一 材料
南方ハ木造建築多クケドモ一級ノ瓦ノ厚壁及外壁ニテ用キタリ北方ノ如ク泥土ノ家屋ナリ
- 二 窓壁
コレ南方ノ見ル所ニシテ形状ノ種々ナル變化アリ
- 三 軒
南方ノ家屋ハ軒ノ製全ク北方ニ異ナリ殊ニ其又轉ノ甚シキヲ見ル
- 四 店
北方ノ店ノ前面ヲ多クトルヲナシ前ニ欄ヲ繞ラスモノ多クモ南方ハ斯ノ如キモノナシ
- 五 石敢當
店ノ前ニ石敢當ヲ立ルルハ北方ニ多クシテ南方ニハ極メテ稀ナリ
- 六 雷瀨
南方ニシテ北方ニナシ
- 風水塔
南方ハ風水塔ナルモノ市街ノ附近ニアリ北方ハ種々塔ナシ
- 八 塔
南方ハ仏塔甚少シ、儒コレアルモミナ粗造ニシテ義トシテ九輪ヲ欠ケリ
- 九 忠牘
南方ニハ意匠ノ甚ク富裕ナルモノアリ北方ハ多ク乾燥ニシテ趣味少ナシ
- 十 炕
南方ニハ炕ナシ火鉢ヲ以テ暖ヲ取ル
- 十一 モールチング
南方ニハ往々精緻ナルモールチングノ壁ノ側面ニ施セリ北方ニハ施ヲ見サル所ナリ

○十二棟
南方ノ棟ニハカクテ首ノ根ノ裝飾アリ、又屋中央ニ
一種ノ裝飾アリ、鬼板ノ代リト、奥ノ贅ヲ用ユル
ト、普通トナレド、吻ヲ用ヤス。
又正吻、旁吻、鬼籠子等ノ用法ナシ。
○十三 喬木
南方ニテハニク軒構ナリ、會アレハ極メテ小ナルモ、
ナリ、地ニ垂キモ北方ノ如ク内カラズ、ヒラ偏平ナル四
角ナリ、又飛檐タルキモ全様ナリ。
○十四 木頁、茅頁、
南方ニハ大建築ノ外木頁茅頁ナシ、ソノ代リタリキ
階シヲ用ユ。
○十五 支輪
南方ニハ支輪アリ、北方ニハナシ。
○十六 斗拱
南方ノ斗拱ハ細緻ナレド見戲的ナリ、北方ノ粗ナ
レトモヤニ大ナル氣魄アリ。
○十七 配置
南方ニハヒラチユリス列ナル庭園の家屋ノ配置多シ、
北方ハ寧ロ甚タドブライナル配置多シ、南方ハ箱
庭的ノ配置多シ。



十三 漢口、

漢口 (夏口廳) 人口八十萬 (實六 四十萬以内)
武昌 全四十萬 (實六 十萬以内)
漢陽 左二十萬 (實六 五萬以内)
合 百四十萬 (實六 五十萬以内)

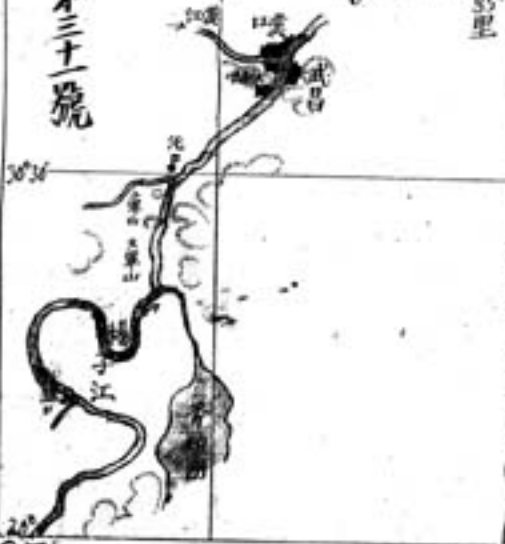
LES TROIS VILLES DE L'EMBOUCHEURE DU HAN



Plan architectural de la ville de Han, montrant les trois villes principales et les fortifications. L'échelle est de 1:10000.

第三十一號

里 55 子 子 子 子 子 子



30°34'

20°

217

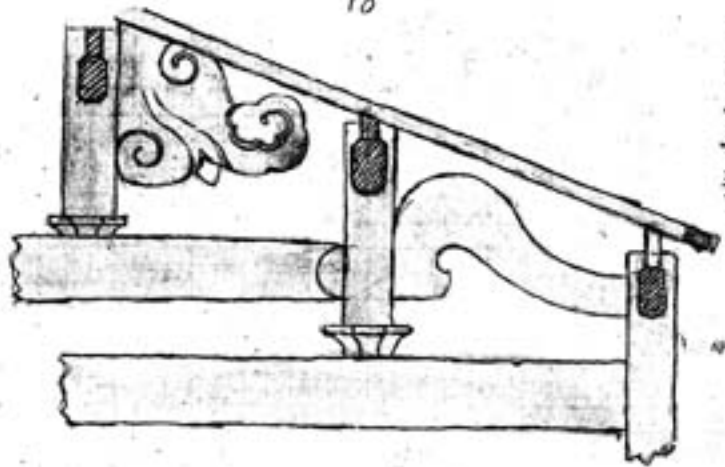
漢口附近圖

里 5 子 子 子 子 子 子



◎黄鶴樓建段

18



海老虹梁ノ用法ヲ見ル頗ル奇き。

○萬年燈

白石ノスツレハ黄鶴樓遺趾ニ在大元朝ノモノニ
シテ墳墓ナリ、コノ附述引カレ的建築ヲ見ルハ
頗ル大可ナリ

○黄鶴樓
今亡ル

◎寶通寺(南面) (洪山ニアリ)

○山門
西金剛ヲ安置ス

西

○天王殿

多關 右手地、左手珠
増長 左手塔、左手傘
持国 琵琶
廣目 劍

漢陽 寶通寺ニアリ	劍、見
	琵琶
	蛇
	塔、傘

○接引殿

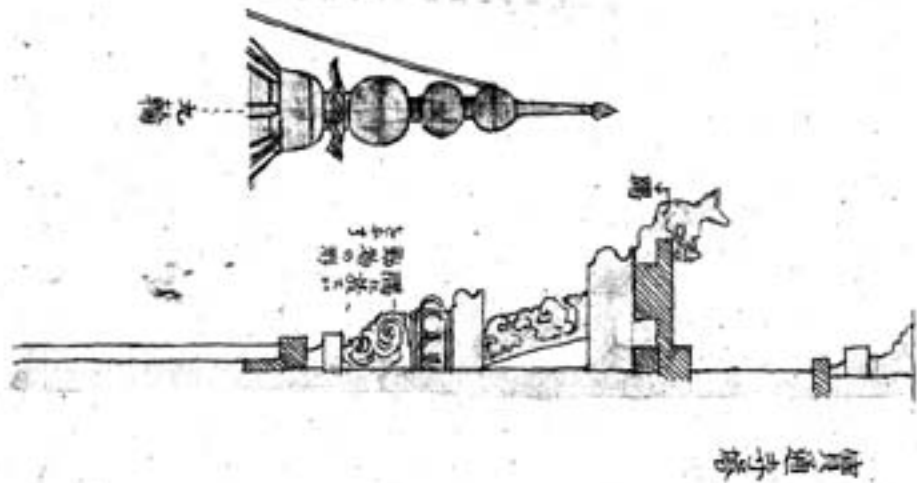
○大雄宝殿
釈迦、文殊、普賢、十八羅漢、

○左客堂

○右客堂
○祖師殿
祖師重光(唐朝ノ人)

○西方丈

○東禪堂

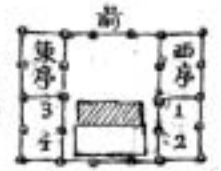


曾国藩廟内

○塔
八角七層、觀及石ヲ以テ造ル
每層皆椽ヲ周ラス、

○武昌城東・洪山ニ至ル間ニ孔子廟、及ヒ
覽觀アレバ、別ニ大ニ見ルニ足ルベキモノ
アラズ

○城内亦タ、曾國藩ノ廟アリ、別ニ見ルニ
足ラス



禪堂ノプラン

縁結氣仏
妄句習声
除說得念
屏少収多
1. 2. 3. 4.

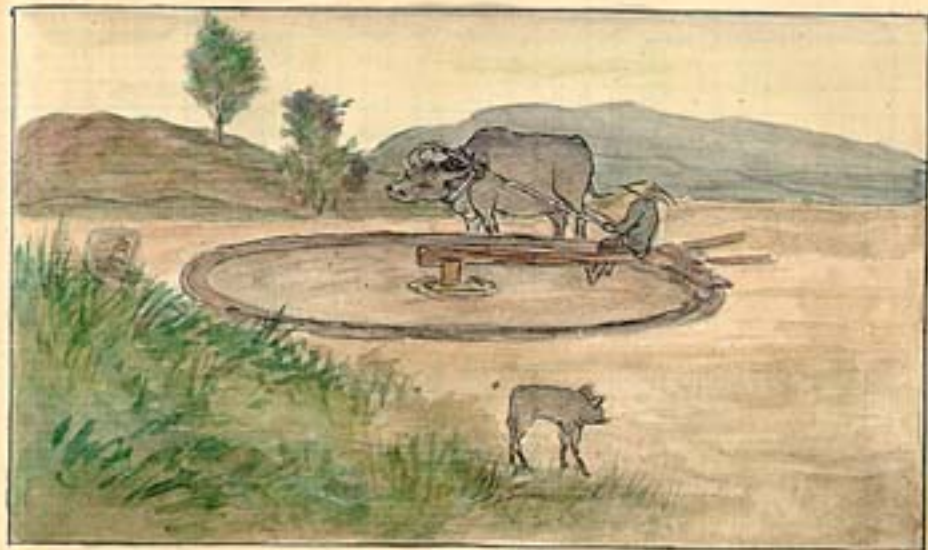
19.

武昌巡撫「端方」氏多ク古器ヲ藏ス、多ク
ハ珍奇ナルモノナリ、
左ニ其主要ナルモノヲ掲ク、

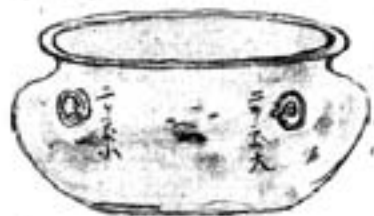
ノ



武昌
曾國藩
廟内



銅酒器
(漢初代)



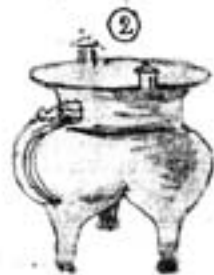
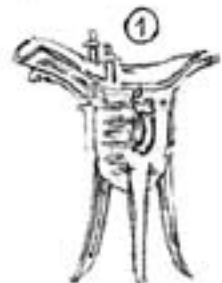
陝西
扶風縣
出土

以上陝西省鳳翔府鳳翔縣ヨリ掘出
(周代遺品)



(コノ形ニ数種アリ)

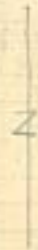
8



爵¹
罍²
盃³
卣⁴
尊⁵
觥⁶
角⁷
斝⁸



奉 德 皇 始
 廿六年皇太后崩并葬于下諸侯黔
 首大女五拜内皇太后乃詔丞相狀
 詔度量則不壹勸教者皆明堂之
 二世詔
 元年制詔丞相斯立快法度量
 盡始皇太后為之皆有刑辭焉今
 製拜而刻辭不稱始皇太后其於
 久遠也如後嗣為之者不稱成
 德刻此銘故刻左使母題



奉 德 皇 始

權 ← (1)



量 ← (2)



レコニ木柄
アリモナリ

詔版 ← (3)



(丙) 甲乙之儀多リ



(乙) 甲ト器全レ

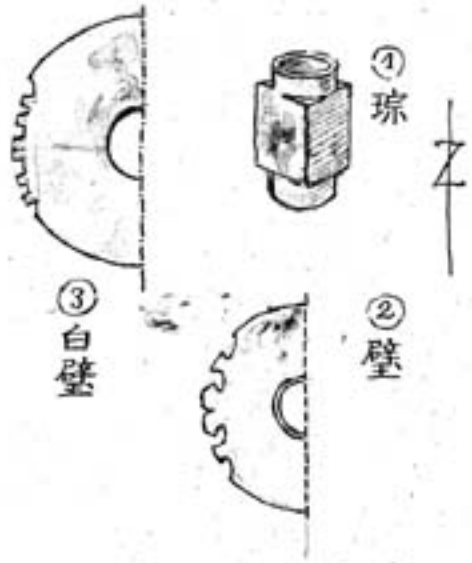
糧食ヲ入レタルモ
ナレバシ



鍾

(甲) 元封二年

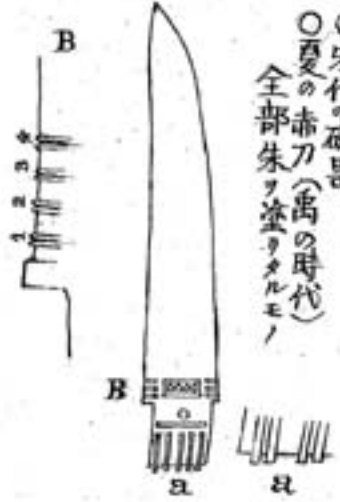
(河内洛陽ヨリ出)



① 琮

② 壁

③ 白壁



○宋代の磁器、
○夏の赤刀(禹の時代)
全部朱ヲ塗リタルモノ



外漢代ノ瓦器ニあり、
○唐の通貨(丁塔寺ナリ出)

高橋一寸五分
中橋一寸五分
中橋一寸五分
中橋一寸五分
(竅)



蓋



○全上



○漢瓦器(陝西)



蓋

○蒼壁



○卯



彫レテ左ノ如シ

調物 調物 調物

郡將汜風臺
周末戰國時物

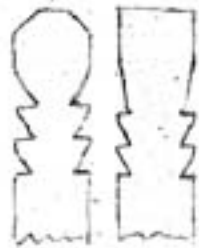
○晴川閣 (漢陽)

五楹、四楹、重層、上層、破軒、額上廂蓋、
屋椽入母屋、ニッ軒、密木、扁平、四角、
龍椽、タレキ、兩側、ト下ニテ、コキ、閣、扁ト普通
トノ中央、斗拱見ルニ足ラス、

漢口
破風ノ例



○禹王廟ニ於ケル
畿は如何



○伯牙臺 (漢陽)

月湖ノ畔ニアリ

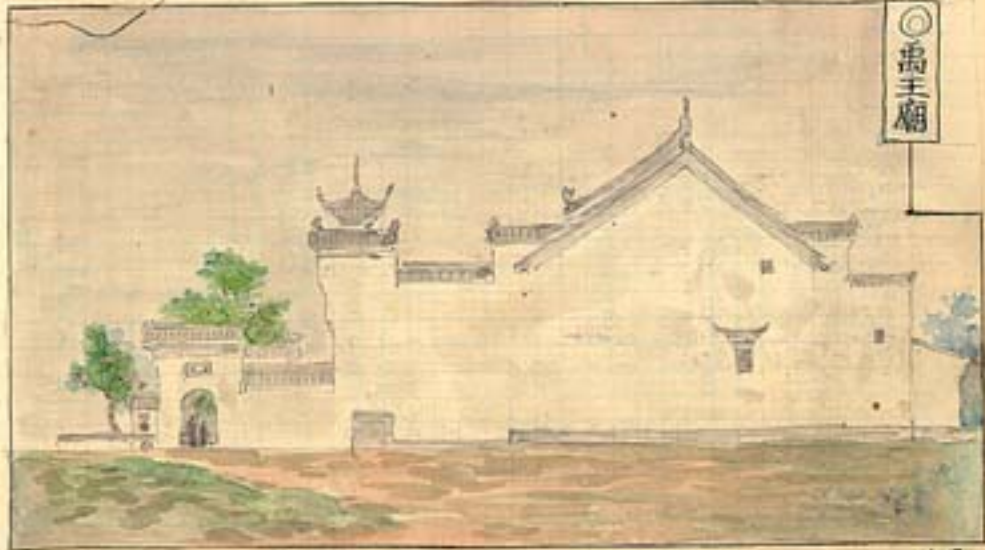
風景甚ク佳ナリ、建築物ニ多ク見ルベ
キモノナシ

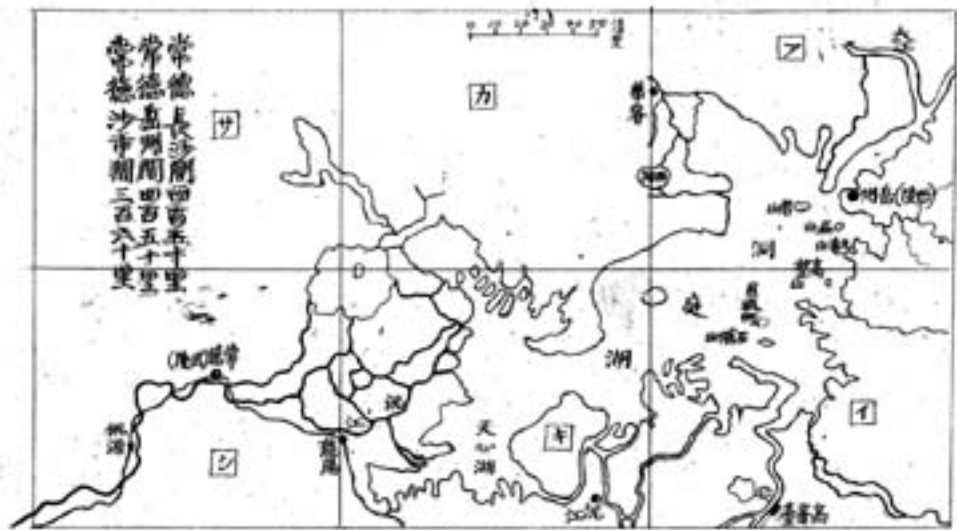
○禹王廟 (大別山上)
側面ノ輪廓甚ク奇抜ナリ

丹桂茶園



◎ 禹王廟





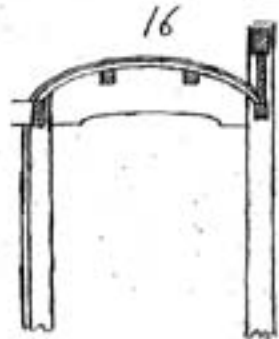
常徳長沙剛四百五十里
 常徳直州間四百五十里
 常徳沙市間三百六十里

○関帝廟

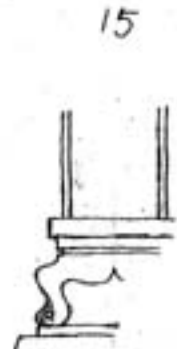
軒ニタ軒、ひえん角地たるき丸、木員、茅員、
 間ニテ扇ニある、木瓦葺、
 料拱、クツレ形（南方ノ料拱多クハコム式ニテ北方
 ノ正式ノモノナシ）



△隅瓦



△廊



△柱

コレ亦々湖北巡撫端方氏ノ所託ニカ、以
氏ハ土器、瓦器、磁器、六百点、金銅器、
石器、石佛二百余点ヲ有ス、左ニ図スルモノ
ハ其一二ノ例ノミナリ

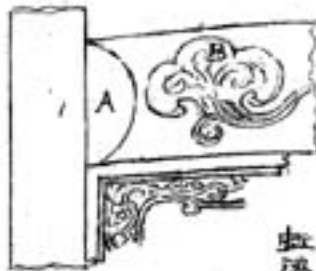
○周漢ノ古器

關帝廟ノ規模及建築ノ宏大ナル
其裝飾ノ美ナル蓋シ近傍ニ比ナレ
但シ例ノ濃雜、艶麗ナルヲ如クニモテ
野卑ナルモノ、清朝ノ造、

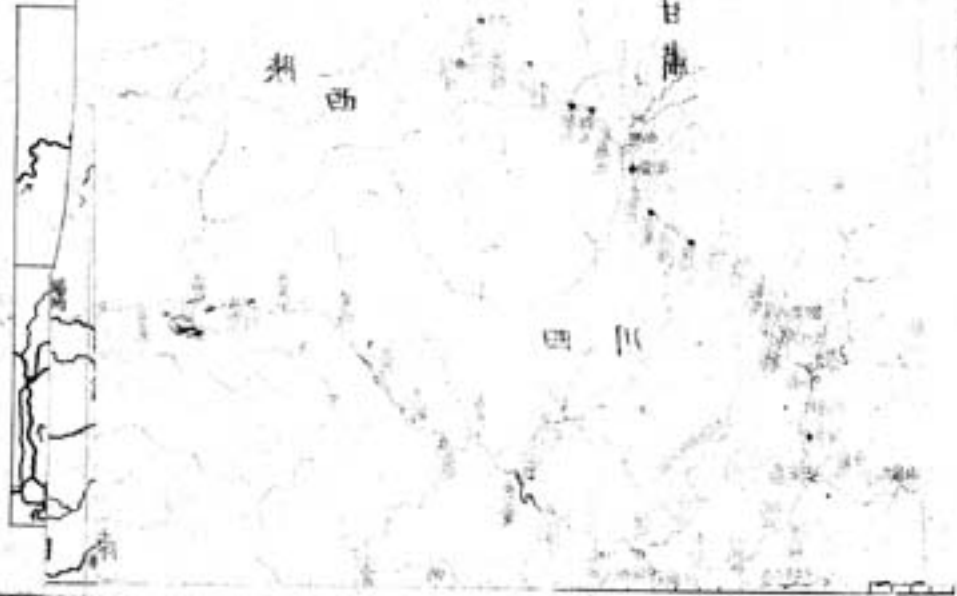


右ノ先トク曲ケテ戸板へ打込込ム

△斜根ハ「飾」を立テテ其ノ奥の「組」にセテ
クナリ、



虹梁と柱



鼎



洗



覆耳鼎



鼓

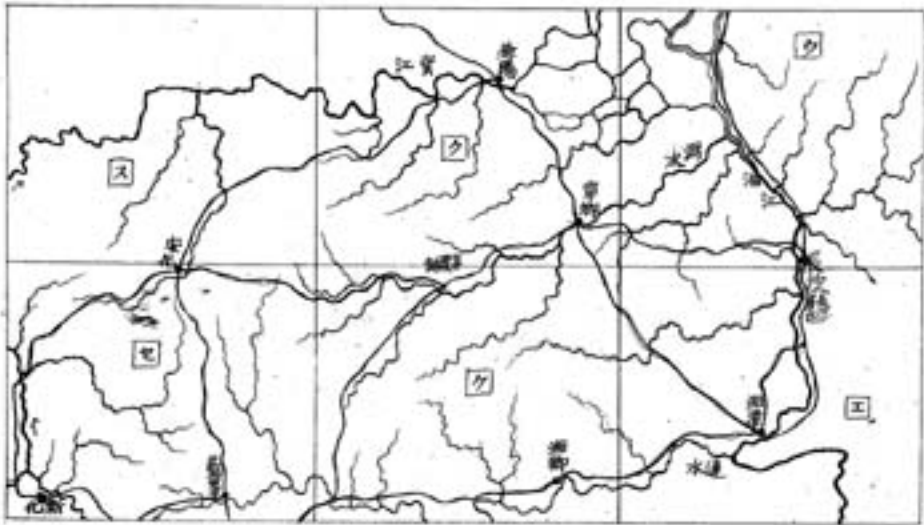


觚



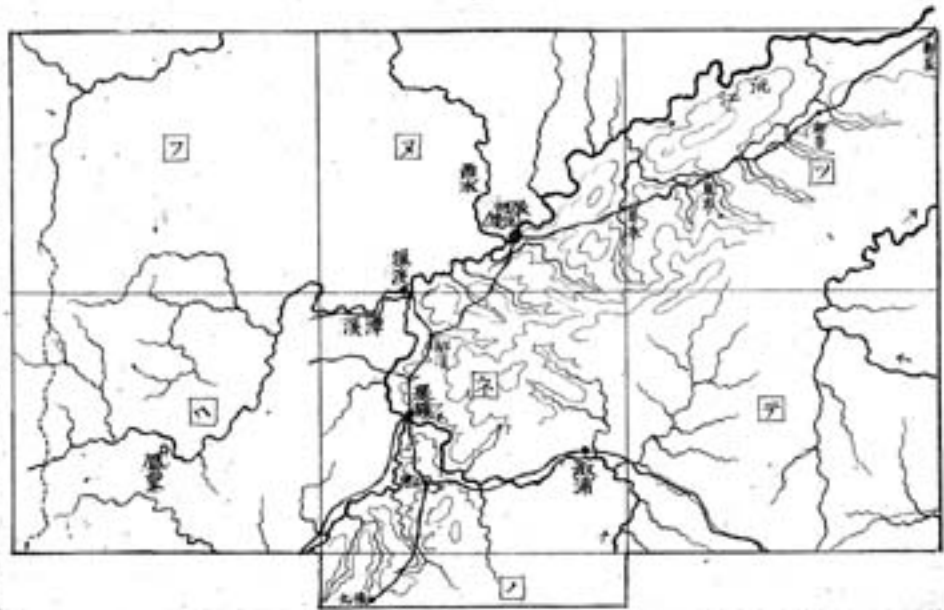
尊





日本建築学会
 建築学
 建築史
 建築計画
 建築構造
 建築設備
 建築材料
 建築工法
 建築法規
 建築教育
 建築研究
 建築情報
 建築文化
 建築環境
 建築産業
 建築経済
 建築政治
 建築社会
 建築国際
 建築未来
 建築の発展
 建築の進歩
 建築の革新
 建築の創造
 建築の美観
 建築の健康
 建築の安全
 建築の安心
 建築の信頼
 建築の責任
 建築の誠実
 建築の公正
 建築の透明
 建築の開放
 建築の協働
 建築の共生
 建築の持続
 建築の調和
 建築の統合
 建築の融合
 建築の創造
 建築の革新
 建築の進歩
 建築の発展
 建築の未来





○戯曲ノ話

崑曲

尤モ高尚優美ナルモノニテ神仙の如ク種類ノ
 演戯ニ用テ霓裳羽衣ノ如キ舞ヲ奏ス
 此際モ正ニ崑曲ナリ貴妃醉酒ナドニモ用テ
 繡白裳
 脚本ヲ集メタルモノ元代ノモノナルベシ

戯子老生花一浄丑末

山 心

老生ハ顔ヲ彩セスシテ髯アルモノノ
 小生ハ顔ヲ彩セスシテ若キモノ

花旦ハ女形

武旦ハ女ノ武人ナリ

老旦ハ老女

浄ハ顔ヲ彩ルモノ

丑ハ滑稽

末ハ馬ノ脚又ハ従者等

冠ノ後ニ白髪ヲ下クルモノハ高官皇族
 額ニ赤髯ヲ置スルモノハ猛烈ノ相
 顔ヲ白クスルモノハ悪人

髪ノ後ニ白紙ヲ切リテ下クルモノヲツケ墨衣
 マ着シタルハ幽霊

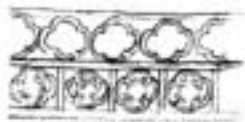
火ヲ燃スハ冥異ノ表現
 背ニ旗回本ヲ押スハ武将

牙ヲ引テ進タルハ百鬼ケタル儀
 牙ヲ提テ進フル勝タル儀

馬ハ用牛ズ



湖南省湘陰縣芦陵潭ノ下三十里
八角七重塔
上部

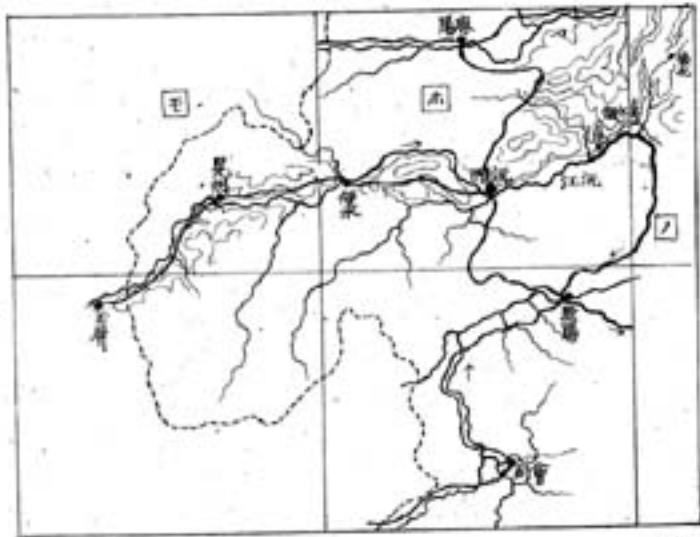


○歸元禪寺(漢陽城西凡二里)

明代ノ創建ト云フ

羅漢堂、觀音堂、經藏等、
伽藍ノ外ニ在リ

棟瓦ノ一例





正面



狗頭帽



唱戲と女戲子



丹桂茶園

漢口出登之圖

復の産瀨を松の色深く濁れる
大江や流るる滝にたるとる谷川か

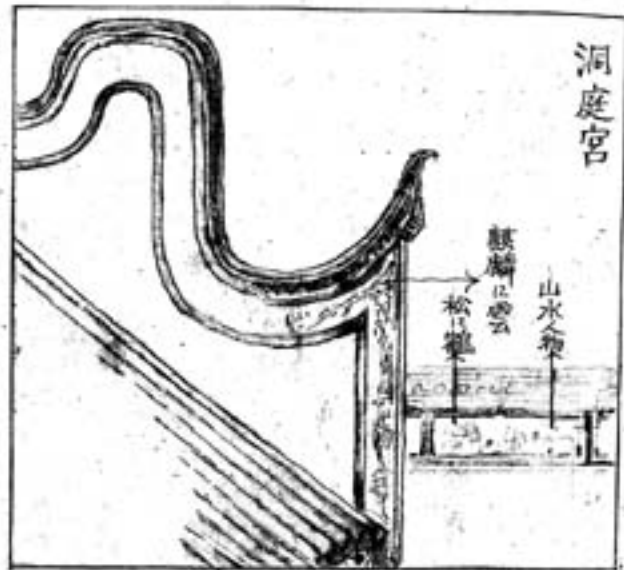


漢口帯在之圖

賑此重火定
備文れい浄土



下り棟先の獅

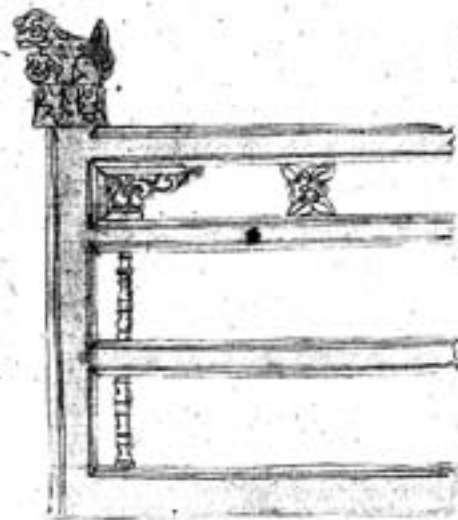


洞庭宮

麒麟に雲

山水人物

松の葉



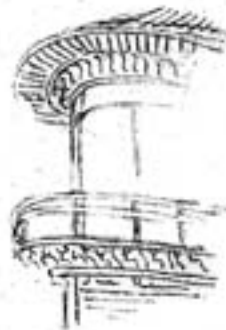
△駒寄セ

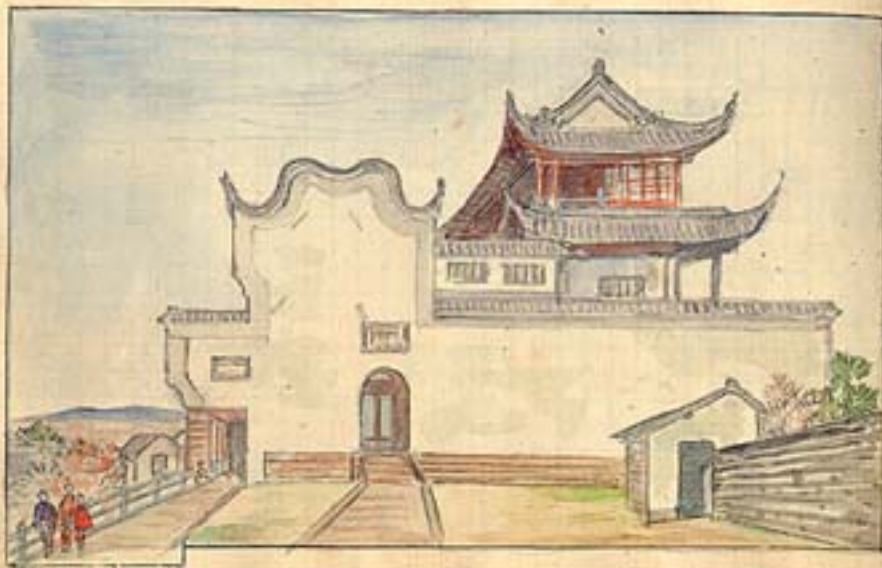
コノ間と獅ト獅子トヲヘタルモアリ



△九軒

④長沙





天心閣

城壁之上より壁上大砲ヲ掲ヘタルハ珍シ

長沙

城、東西四里、南北七里

人口四五十萬ト云フ

唐、虞、夏、商、ヨリ魯マデ荊州ニ屬ス

周、春秋戰國ノ時楚、南境ニ屬ス

秦、長沙郡ヲ置ル

漢、長沙國、臨湘縣

(高帝五年封長沙王、石帝無嗣、除景

帝封子彘爲長沙王)

三國、長沙郡、湘陰縣(建安五年劉表下之、

全十三年長沙郡降於備、二十年湘水備、備

男後入吳)

○天心閣

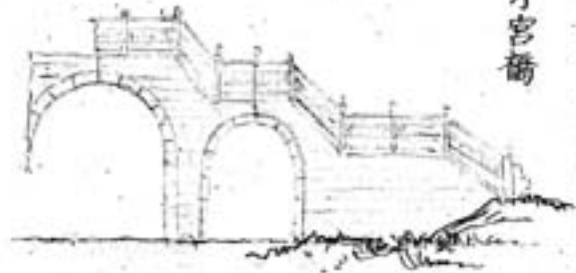


瑤瓦「から草瓦

定王其堂中漢代ノ碑文ヲ石摺ニセルモノ
 数幅アリ、ミナ珍品ナリ、上部ニ龍及鳳ヲ
 見ル、龍六朝頃ヨリ始マルト思ヒレシニ、
 漢代ニモ己ニアリ、才六十六頁ヲ宗昭ハス
 ベシ。

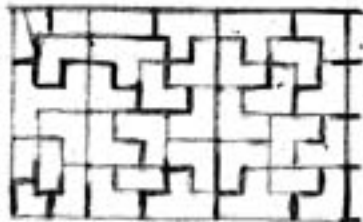
— 7 —

○賈太傅祠
 漢賈誼故邸
 建築トシテ別ニ見ルベキモノナシ



庭園内月宮橋

△庭園ハ甚ク廣クテ池アリ橋アリ土脚アリ
 樓アリ亭アリ、例ノセメント細工ノ岩石墨々
 ナリ。



○曾文正公祠

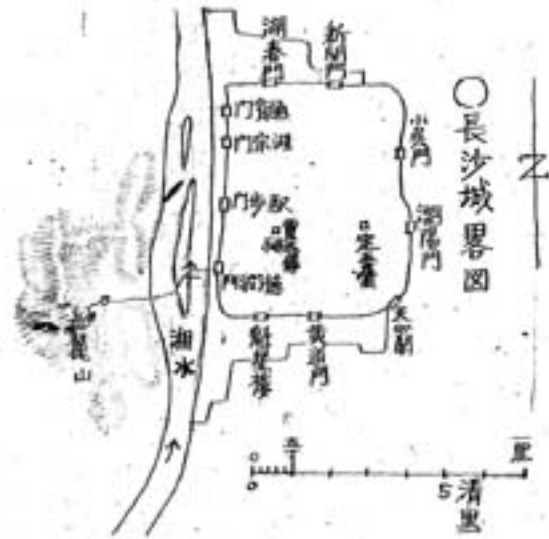


○定王其堂

(漢書景帝二年封王
 為長沙定王)



コノ城ノ位置吳芮ノ時ヨリ變セズ
明代多少増減セルコト



棟飾(畧式)

○岳麓書院(長沙ト湘江ヲ距テ對岸ニ在リ)
棟飾(畧式)



△雲麓寺
岳麓山ノ頂ニ在リ眺望佳ナリ。
望湖亭ヨリ湘江ヲ睇ムベシ。

△萬壽寺
雲麓寺ノ下凡半里ニ在リ。伽藍ノ規
模稍ナリ。

長沙城內廣五里袤十里周圍二千六百三十九丈有奇
門有九東二門曰小鳥一作小鳥曰瀏陽南一門曰黃道一名碧湖今稱南門西四門曰德湖即小西門曰馭夫即大西門曰湖草即草場門曰通衢今開北二門曰湖春今稱北門曰新開臨湘故城在府城南今善化縣界也橙者陽也

古蹟

黃忠故宅 長沙衙署 北內城樓上盛甲アサ
賈誼故宅 善化縣ニ屬ス
定王墓 在瀏陽門内
古欽塔 在湘春門外欽仏寺、七層、供石
仏三石羅漢十八云々

長沙ハ(三回ノ前後)孫堅太守トシテコ、ニ居ル、
初平元年堅兵ヲ率ケテ卓ヲ討ツ、
後吳人蘇代長沙ヲ領シ乱ヲ作ス劉表之ヲ平ク
建安元年太守張羨殺ス劉表之ヲ平ク、
全十二年玄徳長沙ヲ徇フ太守韓元降ル、
二十年呂岱出長沙ヲ取ル孫權代岱ヲシテ長沙ヲ鎮セ
シム。

△黃忠字漢升、南郡、世居長沙、建安
時太守韓元上力ヲ協セテ城ヲ守ル劉備
之ヲ攻ムルモ漢ニ歸ス、時ニ年已ニ六十、後
屢々奇功ヲ立ツ。

△唐、政陽詢字伯康、本頓之孫也
政陽通、詢ノ子

○定王墓に於ける漢碑

ヨリ碑、四川省ノ某地(不詳)ヨリ出シモナリト云
ズ大サ一尺ヨリ一尺五寸位ノモノニテ、何レモ知名ノ人
ノ墓石碑ナリ。

(一) 上部ニ鳥アリ下部ニ玄武アルモノ

(二) 上部ニ龍アルモノ
玄武ノ模様ニハ時代已ニ行ハレタルヲ知ルベシ

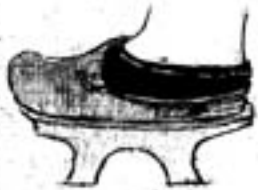
(三) 上部ニ龍ト人トアルモノ
龍六朝以後ノモノト大ニ異ナリ

(四) 上部ニ龍ト人トアルモノ
コレノ〇縣ノ漢碑トアル關係アルベシ
(光緒六年)

(四) 上部ニ龍ト人トアルモノ
コレ非常ニ奇異ナルモノナリ
(圖面参照)



泥路ノ際小兒ノ
用ユルモノ



泥路ノ際下等人ノ用
ユル下駄

漢口長沙間里程表(永年航長、現)

漢口	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240	250	260	270	280	290	300	310	320	330	340	350	360	370	380	390	400	410	420	430	440	450	460	470	480	490	500	510	520	530	540	550	560	570	580	590	600	610	620	630	640	650	660	670	680	690	700	710	720	730	740	750	760	770	780	790	800	810	820	830	840	850	860	870	880	890	900	910	920	930	940	950	960	970	980	990	長沙
----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----



墳墓に
数種あり

自長沙至常德船中



長沙	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
常德	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
益陽	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
漢陽	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
沙市	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
宜昌	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
萬縣	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
重慶	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510

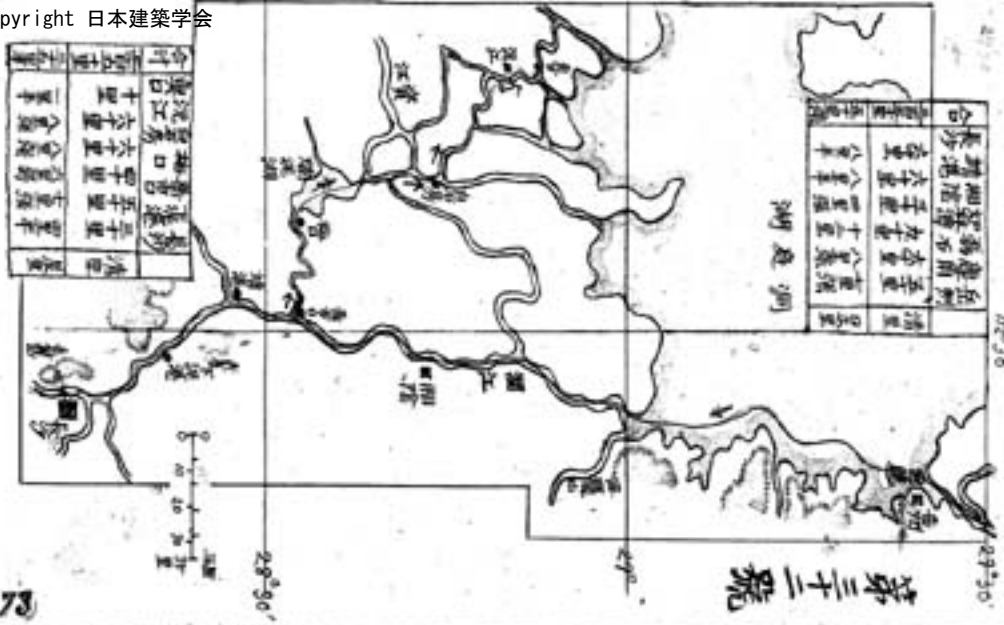
自長沙至常德水路表

長沙	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
常德	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
益陽	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
漢陽	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
沙市	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
宜昌	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
萬縣	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510
重慶	30	50	70	90	110	130	150	170	190	210	230	250	270	290	310	330	350	370	390	410	430	450	470	490	510

漢口至宜昌水路表
 漢口至沙市水路表
 漢口至宜昌水路表
 漢口至沙市水路表
 漢口至宜昌水路表
 漢口至沙市水路表

自長沙至常德水路表 (永平丸、恒安丸)

子説、成、信、し、難、し、に、長、安、丸、
 恒、安、丸、



一、屋上ニハ葺キノ束ヲ載セタル形、我カ勝男木
ニヨク似タリ。



乙
又甲ハモハメダシク建築式
ヲ現シ、乙ハゴシク式ヲ
現シタル系系ヨリ偶然
結果ニシテコノ偶然
尤モ趣味アル現象ニテ
アルナリ。



○沅江縣附近民家
家ハ木造或ハ粗瓦ヲ以テ
造リ葺キ木を以テ葺キク、
其プラン及前面ノ形ハ我カ
出雲ノ大社造ニ似タリ、即
チ入口正面ノ右手ニアル下
切妻ヲ正面ニ向ケル、
等ニテ太古ノ民ノ必要上
ヨリ作レル原始建築ハ
各時期セズシテ全一ニ歸
スルコトヲ見ルベキナリ。

第三十三號



合計	長沙	水溪	源德	常寧	臨武	宜章	炎口	衡山
千里	千里	千里	千里	千里	千里	千里	千里	千里
千里	千里	千里	千里	千里	千里	千里	千里	千里



湘江(寧遠附近)



土地神祠

同州府京師總圖





(十六) 桃源縣

城ノ東西三里余南北二里戸三千
人口壹萬五千位アルベシ
縣ノ入口ニ文星塔アリ八角九重別珍奇ナラス
只今毎層ノ階ノ形全ク異テ其裝飾
法一々異ナルガ故ニ遠望スルバアリノ形一々皆
異ナルカ如シ正ニキ手法ニ非サルモマタ一種ノ想意
ナリ。



左ノ如キ法アリ

斯ノ如クモ或ハクラシクノ如ク見ルハ或ハクラシクノ
如ク或ハモタシクノ如ク見ル但シアチ上ノ手法
ハ實ニモテ画キタルモノナレバ不正ノ法ナリ

○ 漳江關

城北在り八角三層、才三層ノ屋尤モ大ナリ
但シ別ノ觀ルベキモノナレ

桃源之園



○桃源洞

桃源器ヨリ西南三十里、沅江ヲ渡リテ一小丘アリ、
 山麓ニ区ノ建築アリ門古桃花源ト書ケリ、
 中腹ニマダニ区アリ門白雲山館ト書ケリ、
 頂ニマダニ区アリ金頂ト云テ頂ニ洞アリ水ヲ湧出ス古
 ノ洞謂桃源洞ハ洞ヨリセト下ノ洞ナリ、
 コノ丘麓ヨリ羊腹ニカケテ竹林ナリ上部松松ナドノ
 雜木ト共ニ茂レリマダ桃樹モアリト云フ。

○自桃源縣至鄭家駅(三月二日)

桃源縣ノ南門ヲ出テ沅江ニ沿テ進ム行ク十数
 里ニシテ小丘江ニ接シ來ル丘ノ半腹ニ沿テ西南ニ
 迂回シ二十里程ノ明ヨリ江ヲ渡ル白馬渡ト云フ
 コノ辺江ノ幅二百余間水勢緩ナリ、夫レヨリ直チ
 ニ小丘起伏ノ間ヲ行ク數里立テ下リテ銀アリ桃
 鏡ト云フ溪ノ對岸(溪ハ幅數尺小河ナリ)ニ一列
 ノ小丘アリ即チ桃源洞ノアル丘ナリ西南ニ向テ行ク
 數里ニシテ水溪ニ至ルマダ三十五里、廖家河
 ヲ渡リ西南ニ進ム二十里沅溪ヲ見ルコノ間
 平地ニテ多ク水田ナリ溪ヨリ兩方ニ小丘ヲ見ルニテ
 樹木アリ櫻ノ類、松竹雜木ヲ生ス溪ノ西南
 七里ヲ鄭家駅トス、行程六十里
 コノ辺ノ家畜ノ主ナルモノハ豕ト水牛トナリ水牛ト白
 キモノアリ牛、馬、驢、馬ハ一モ之ヲ見ズ

○自鄭家駅至新店駅(三月三日)

鄭家ヲ登シ西南ニ向テ進ム道路ハ小丘ノ間ヲ縫ヒ
 水田ノ間ヲ迂回スルニ丘ハミナ樹木アリ楊柳溪ハ
 人家數十アリ地勢漸次高シ左ニ四五尺ノ山
 脈ヲ望ミ右ニ沅江ノ對岸ナル四千尺許ノ山脈ヲ
 見ル、沿道樹木豐饒ノ地ナリ竹路鋪ヨリ土地廣
 闊ニテ大商店駅ニ著ス、行程六十里
 今日經過ニ明大小河渠無數灌漑道遠ナシ
 今日路上騎行者及驛ノ見ル

馬底駅	五里
仲鶴坪	十里
拜台坪	三里
南羊厓	十二里
松溪嶺	二里
五里山	三里
馬羽嶺	五里
松巴土	十二里
楊水井	八里
四通橋	十里
辰州府	七十里



自馬底駅至辰州府 (三月六日)

自界亭駅至馬底駅 (三月五日)

取ヲ委溪ニ沿テ進ム乃如鋪ニ至リ丘ヲ越エ下レ
 大塊アリ溪ヲ渡リテ又一大丘ヲ越エ下レ馬駝鋪
 十有コレヨリ丘陵断續ニ十甚タ高カラズ樹林マタ
 多クシ

諸道ノ村落ハチ多敷ク八十戸ノ滿タズ只南末館ハ
 五十戸ニ餘リ乃如鋪ハ百戸ニ近シ馬底駅ハ百戸
 ニ餘リ界亭ノ西ナル溪流ニ一橋ノ奇觀ナセル木
 橋ヲ架セリ。

今日經過スル所未流甚タ多ク或北南或東西
 二維横錯雜容目ノ其場スル所ヲ知ルベカラズ又
 積ニ變リ伐採セルヲ見ル
 今日途中桃花ノ滿開セルヲ見ル
 今日各村落ニテ見ル所ノ女子ノ足大ナリ恰モ滿州婦
 人ノ如シ余ハ之ヲ以テ苗人種ノ風ヲ存スルモノトナシ

自馬底駅至辰州府 (沅陵縣) (三月六日)

取ヲ出テ西行ス牛糞坪ヲ過ケレリ青山坡アリ高草
 地上三百余尺ゴノ山ヨリ石炭石灰硫黄ヲ産ス山ハ
 ミナ石炭岩ヨリ成レリ
 楊水井ニ至ルマデ小丘無數殆ト平地ナシ水流甚
 タ少クモ水田ニテカマアリ樹木マタ多ク茂レリ
 驛ノ改メニテ足ヲ纏ハリ行爲拙常ニ活潑ニモ力子
 知リ毛織物ナリ脚履ニニテ草鞋ヲツケタルモ多ク
 山間ニ桃花多シ其樹ノ形モ花ノ形モ我ガ櫻ニ似タ
 只樹皮ハ櫻ノ如クナラズ香気強シ
 楊水井ヨリ老懸溪ニ沿テ進ム一丘ヲ越エレバ沅江
 ニ出テ江ヲ渡リ南門ヲ入テ沅陵縣ニ入ル江ノ廣サ
 凡二百五十間
 縣城ハ周圍七里戸數二三ノ間ト云ス人口一萬二
 千伯ハアルベシ沿道ノ村落中楊水中ハ戸五十二
 餘レリ其他ハ二十戸十戸ヲ算サナリ
 辰州古ハ辰砂ヲ出ス今ハ産セズ
 現今楊水綿等ヲ主要物産トス。

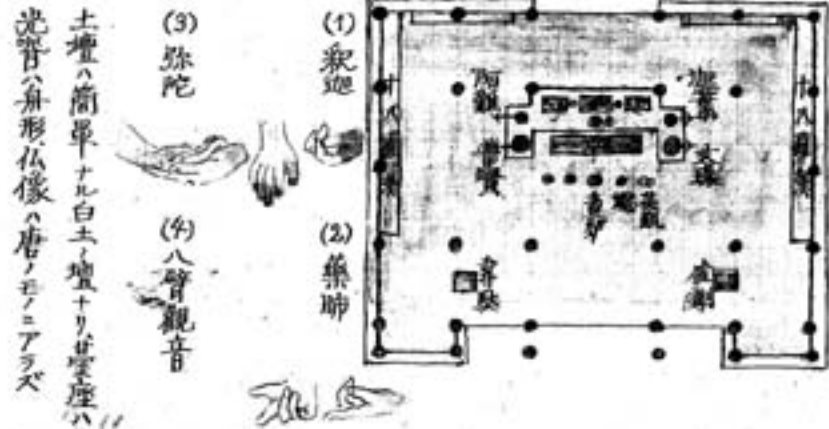


辰州苗

沅陵附近之農婦

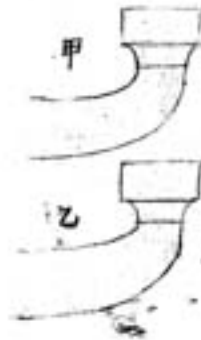


馬底馱西之橋

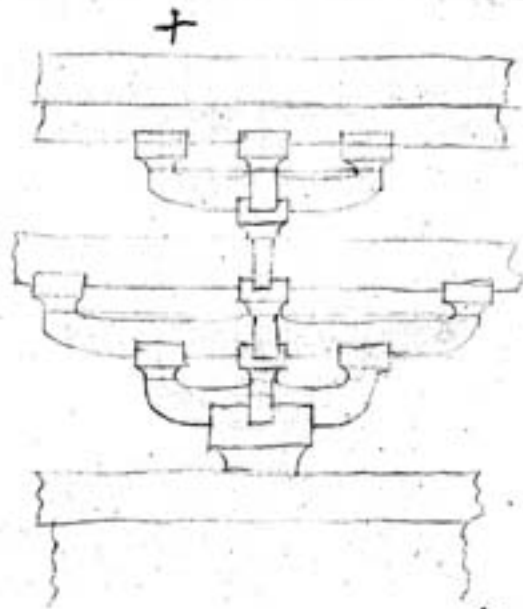


○大雄宝殿のプラン

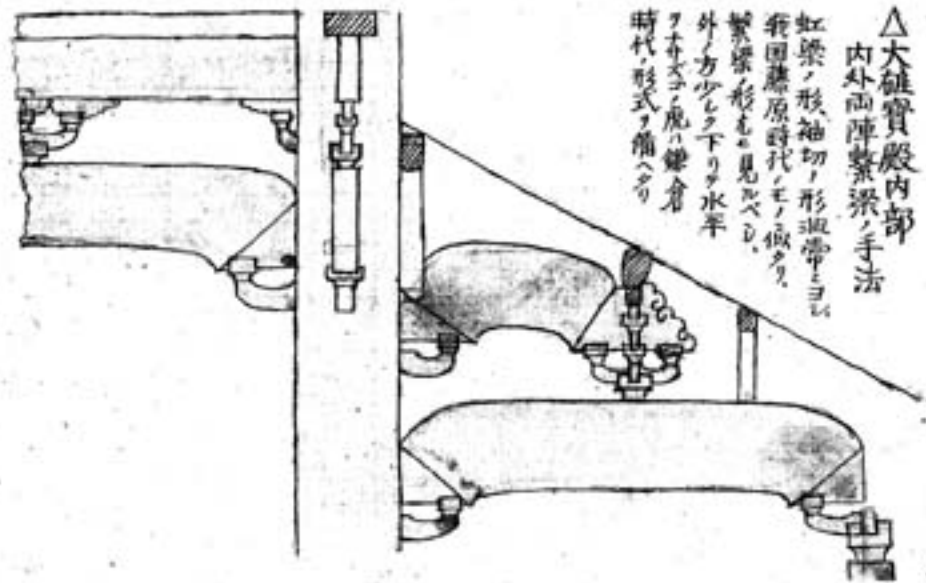
(十七) 辰州(沅陵縣)
 古ハ新州ニ屬ス、後唐々苗人ノ乱アリ、伏波將軍馬援
 モ之ヲ征セシメトアリ。
 一ノヤ
 ○虎窟山龍興寺(唐貞觀二年創立)
 △二門(三天門)
 前 (1) 摩訶舎摩して指ヲ交屈セル相
 (2) 哈今掌セル相
 後 △四天王殿
 前 (1) 毘盧 (2) 舍利塔 (3) 傘及怪動 (應利海)
 (4) 蛇及珠
 中央。弥勒ナレ
 △弥勒殿
 前ニ弥勒像ニ拜臥天を置く。
 △空堂
 △觀音堂(弁堂ナリ)
 △大雄宝殿
 五間四面重層、唐代ノ遺物ナルヲ如シ
 △殊陀塔
 △旃檀像
 △觀音古塔



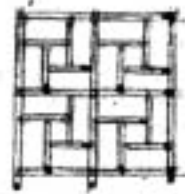
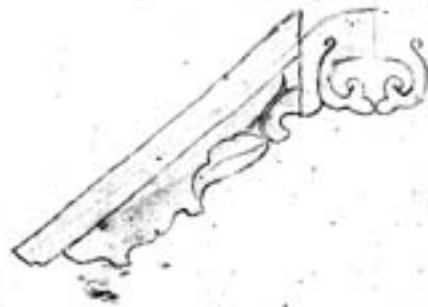
外厚新廻リ内面ヨリ見タル屏拱
 我回鎌倉末足利時代迄實用セラレタル手法
 ナリ、肘木ノ形度様ヲナセルモノ多クシ、稱ニハ和様ニ似タ
 ルモアリ



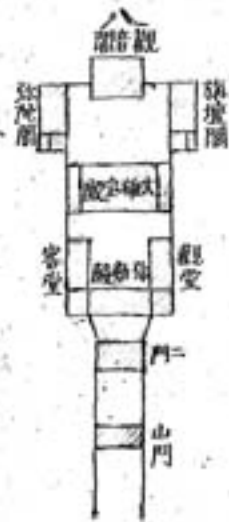
七



△大碓寶殿内部
 内外両陣繁潔ノ手法
 虹梁ノ形袖切ノ形波帯ニヨリ
 我回藤原時代ノモノ似タリ
 繁潔ノ形モ見ルベシ、
 外ノ方少シク下リテ水平
 ナキモノ、虎ノ鎌倉
 時代ノ形式ヲ備ヘタリ

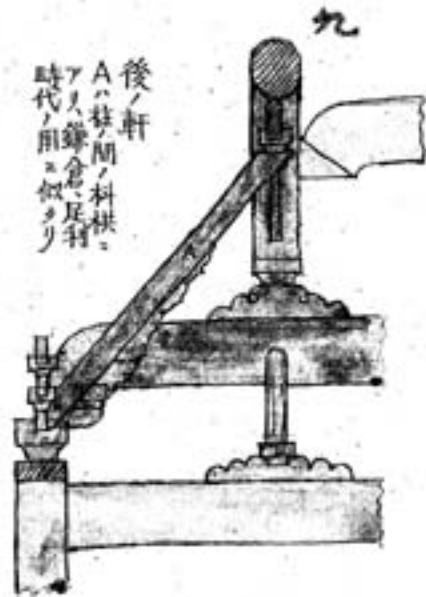


○虎絡書院



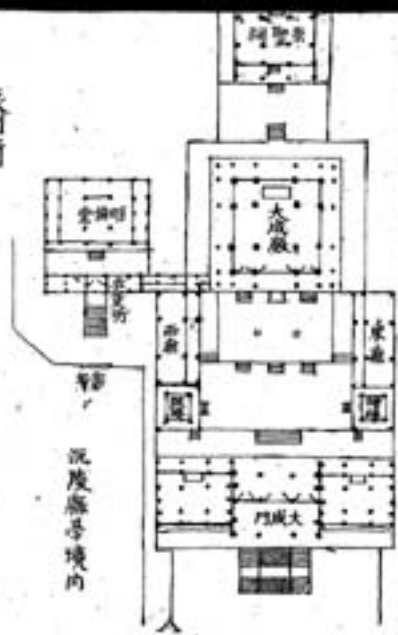
明隆慶太子右禰千仏製装アテ
龍興寺ノプラン

一ノ

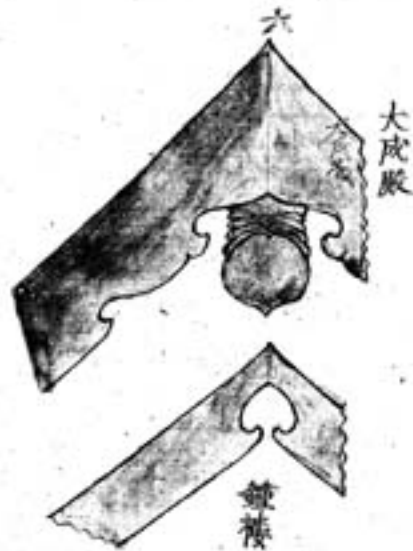


後ノ軒
Aハ柱ノ間ノ科拱
アハ鎌倉ノ足利
時代ノ用ニ似タリ

辰州府
文廟建築不配置之圖



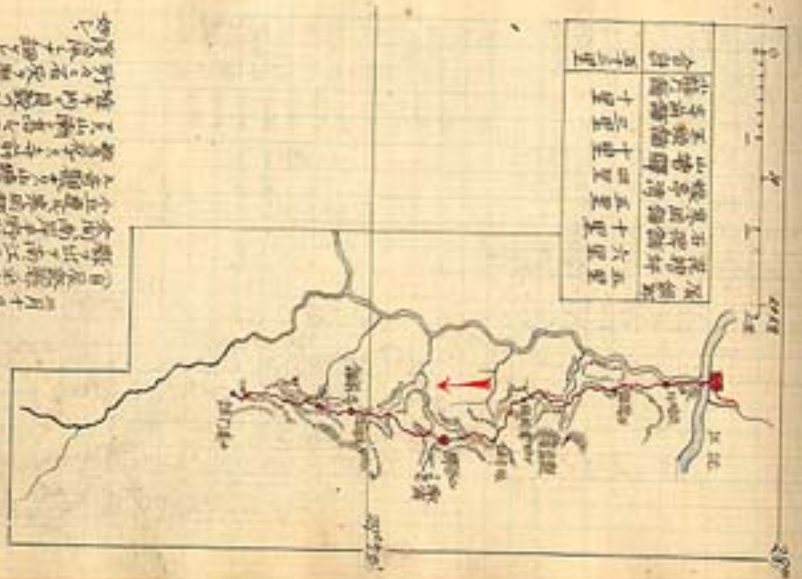
大成殿柱礎



大成殿

鍾樓

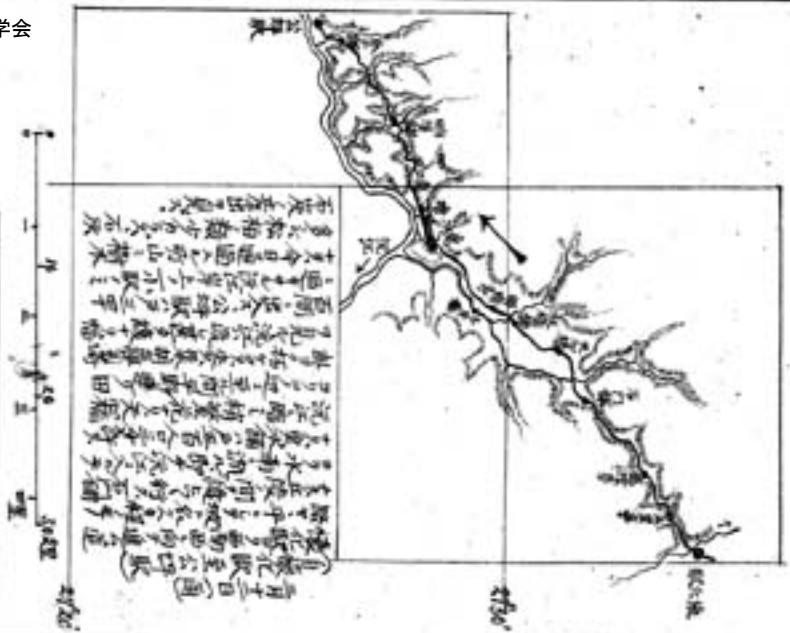
自辰年正月十五日
 縣下出下南江渡江渡二日
 舍向動舟所設星子江每行日
 今立建來而細、來觀音摩身見
 之奇眼、山噴散、數日行、
 觀音寺、寺前鑿之山、今上觀來
 下山南、高七石、足如雲、及上
 野之石而來、雲、及、見、
 如、萬、珠、細、水、清、上、珠、



合山	五里
龍溪	十里
五里	十五里
山老	二十里
果園	二十五里
五里	三十里
五里	三十五里

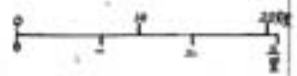
家畜一覽





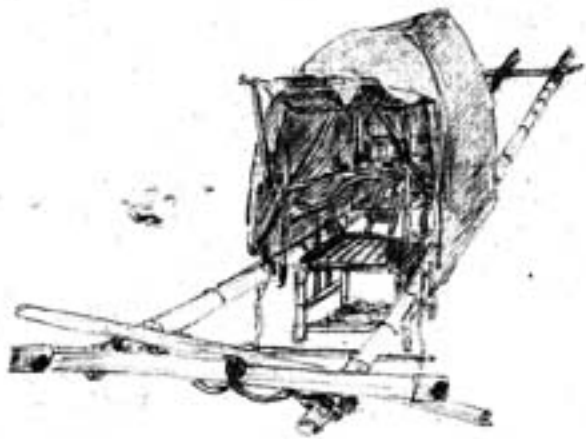
合計	石門橋	天心橋	板橋	德勝橋	五里	五里
瓜崎橋	瓜崎橋	瓜崎橋	瓜崎橋	瓜崎橋	瓜崎橋	瓜崎橋
三里	三里	三里	三里	三里	三里	三里

二月十二日(通)
 (自小龍門橋至懷化取)
 小龍門、出、南行、丘陵、山、樹木
 少、畑、菜、及、麥、多、見、り、蓋、後、水、田
 上、見、り、也、中、所、斷、途、に、難、度、多、第、十
 間、以、上、に、再、稍、便、了、易、渡、り、す、多
 丘陵、起伏、向、南、行、大、山、嶺、見、り、南、行、
 山、南、一、列、高、山、脈、見、り、距離、三、三、十
 頃、更、懷、化、取、見、り、油、山、田、畑、人、道、
 懐、化、取、懐、安、懐、仁、等、十、九、令、苗、属、途、
 中、に、懐、化、取、見、り、九、令、苗、属、然、り、
 了、り、九、令、苗、属、九、令、苗、属、九、令、苗、属、
 了、り、九、令、苗、属、九、令、苗、属、九、令、苗、属、



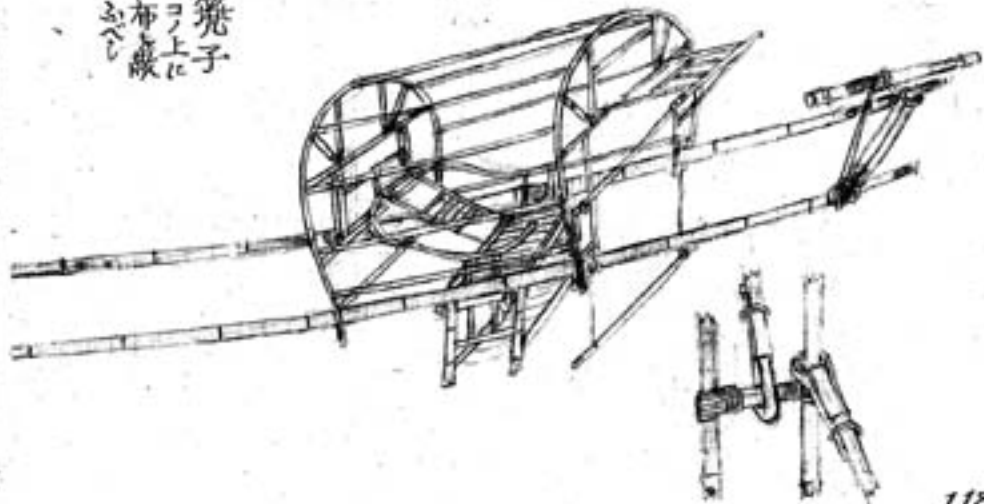
小龍門橋	八里
頭子口	五里
中河口	五里
神江口	七里
近桑橋	七里
教字橋	五里
後身橋	三里
大山橋	七里
白牛橋	八里
五里亭	八里
湯家橋	三里
懷化取	二里
合計	五里





躰子の図

躰子
コノ上に
布と麻
ふへし



五月十七日 辰辰
 白雲岩から青森縣へ
 五月十七日 辰辰
 白雲岩から青森縣へ
 五月十七日 辰辰
 白雲岩から青森縣へ
 五月十七日 辰辰
 白雲岩から青森縣へ
 五月十七日 辰辰
 白雲岩から青森縣へ

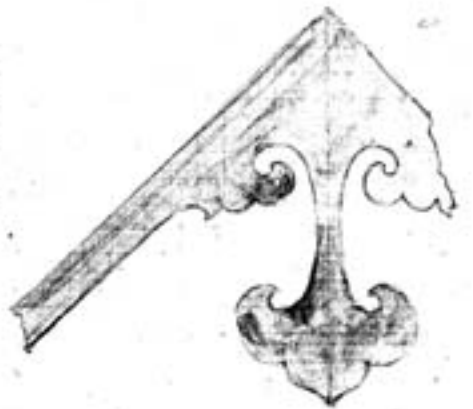
合計	10	20	30	40	50	60
青森縣						
秋田縣						
岩手縣						
宮城縣						
山形縣						
福島縣						
茨城縣						
栃木縣						
群馬縣						
埼玉県						
千葉県						
東京都						
神奈川縣						
山梨縣						
長野縣						
新潟縣						
富山縣						
石川縣						
福井縣						
岐阜縣						
愛知縣						
三重縣						
滋賀縣						
京都府						
大阪府						
兵庫県						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣						
徳島縣						
香川県						
愛媛縣						
高松縣						
岡山縣						
広島縣						
山口縣		</				

○三日月溪、鎮遠を抜ケル風水塔

如く如く、單に觀ラザル、棟上ケルモノ、テ
殆ど建築系トシテ、取板、格ナシ、大サニ高
三四間、乃至四五間、位ト覺レ



辰セルモト云フ、コレヨリ、遠城ニ、洞もト云フ、蓋シ古ノ南
人ノ住居ノ跡ナリ、
○城東、千里山門、
スト云フ、深ク、南岸ナリ
○清繁、南江、
コレイ、
○銅仁、
○附、
○沈江、
舟、



① 玉屏縣

建屋出、見ル、
城、
城、
城、

② 青溪縣

城、
城、
城、

③ 鎮遠府 (鎮遠縣)

城、
城、
城、

ト云フ、
中元、
上、
中元、



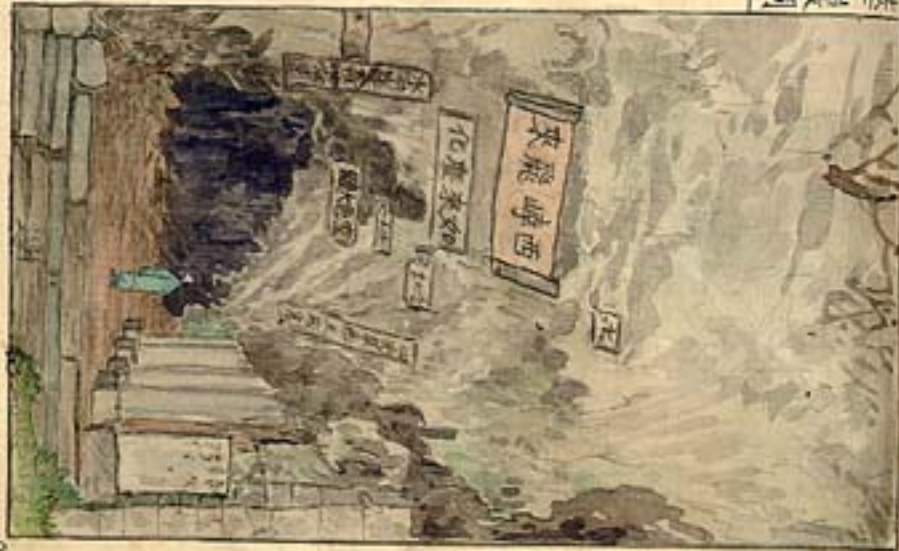
台	德	七	七	乾	源	劉	相	白	文	皮	福
計	家	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
谷	城	城	城	城	城	城	城	城	城	城	城
道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道	道
	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
	三	五	七	五	五	十	五	五	七	三	三
	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里

三月廿日
自鎮遠府至...
鎮遠府在...
石相連...
如...
自...
上...
鐘...
山...
度...
日...
岸...
大...
江...
脚...
合...
通...
地...
班...
り...



鎮遠府

華嶽洞



山ノ麓ナル古洞ニテ入口大サハ二丈許リ内部ノ或ハ二丈半ニ達スル所アリ洞内鐘乳石多ク其形状頗ル奇ナルモノアリ洞ハ深キヲ三十里ニ達スト傳フ。洞前ニ道觀アリ。

○飛雲洞

黄平州東坡ノ東ニアリ、寺ヲ月清寺ト云フ。華嶽洞ノ如キ深キ洞ナシト虽モ規模極大鐘乳石ノ奇巖麗ヒテ奇觀云フヘカラズ。



鎮遠二品客棧ノ奥ノ客室ノ圖

コノ客舎ハコノ地方ノ客舎ノ標準トモナシキモノナリ。

○華嶽洞

絶雲洞



⑤ 地東懸

城圍七八里、人口三千、建築ミ見ルベキモノナリ、
ヲ附近多少ノ苗人住居ス、
又洞道山ノ上ニ烽火臺ヲ見ル蓋シ苗人襲
來ニ備ヘシモノナリ

⑥ 黄平州

新田河川アリ、新州ハ国道ニ寄田リ、城圍七里人口四
千許リ、建築ミ見ルベキモノナリ、
城東ニ五重ノ瓦水塔アリ、
該州人口十分ノ三ニ余ハ苗人ト漢人ト雜居セ久南
方ハ特ニ多シ、今重安岩門ノニ土司ヲ置キテ苗
人ヲ統治セリ、
旧州ハ新州ノ北四十里、施秉縣ノ西九十里ニ在リ、今土
司ヲ置カナシ、
ヲ附近烽火臺廿五カ多シ、又烽火臺ノ如クモノ見ユ
蓋シ苗人、備ヘシニ遺跡ナリ

○道シるべ

又



當 箭 碑
弓開弦斷
左走重安江
富貴長命
右走黃猴鋪
箭尖碑當

城圍五里、戸三百余人、人口二千、近之、縣内人口ノ
 半ハ苗人ナリト云フ。ニケ、明ノ土司ヲ置テ之ヲ管
 ス。黃平明屬ノ苗ヲ黃人苗ト云ヒ、清平明屬
 ノ苗ヲ清苗ト稱スルガ如シ。

(一) 苗人ハ漢人ニ比ス、身身長小ナリ、多クハ五尺ニ至
 シ、出入ノ頸短ク、顔方ニシテ、漢人ヨリモ醜惡ナル
 相、鼻ヲ有ス。

(二) 男子ハ多ク左ノ耳ニ耳環ヲ挿セリ、女子ハ兩耳
 ノ糸ノ下ヲ垂、衣ヨリ丸キ貨、腰巾狀ノ板ニ挿テ、

(三) 女子ハ頭髮ヲ捲キテ頂ニ結ヒ、上ニ額ヲリカケテ
 黒布ニ包ハ、衣ハ右衽ニシテ、筒袖ヲ用テ、襟及腕
 ニ裝飾ヲ附シ、襟ト腕ト袖ト、皆ニ裝飾ニテ、肩ノ上ヨ
 リカケテ、連環ス、裳ハ深ク、腰ヲ取レル、外國婦人ノ
 用ニルカ、如キ袴ニテ、下ニ股引ヲ用テ、膝引下ハ布
 ニテ巻セ、足ハ跣、足ナリ、衣ハ紺色ヲ本錦ナリ、

(四) 男子ハ多クハ清朝ノ衣服ヲ纏ヘリ、然レモ、僅々頭ヲ剃
 ラズ、一種ノ濃紺色ノ衣服ヲ用テ、ルモアリ。

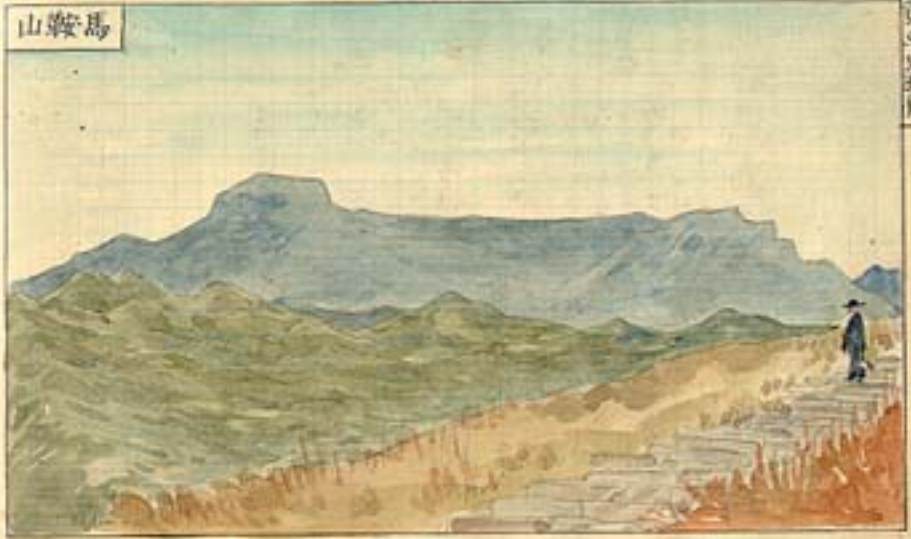
清平縣

○苗語ノ例

Ah Ah Pih Swo Chiya Tui Shun Ya Cho Chiu Lawai Kata Ten' nai Ha' ao Lot' mu Wai-hai Mu-hai Mieh Pa Mui

一二三四五六七八九十 天地人水火 我汝彼父母
 又母ノ教呼、漢音ニ改音ニ似ルモ奇ナリ

馬鞍山



黃平州城西南

146°20'

146°30'

合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
八里	七里	六里	五里	四里	三里	二里	一里	十里	九里	八里

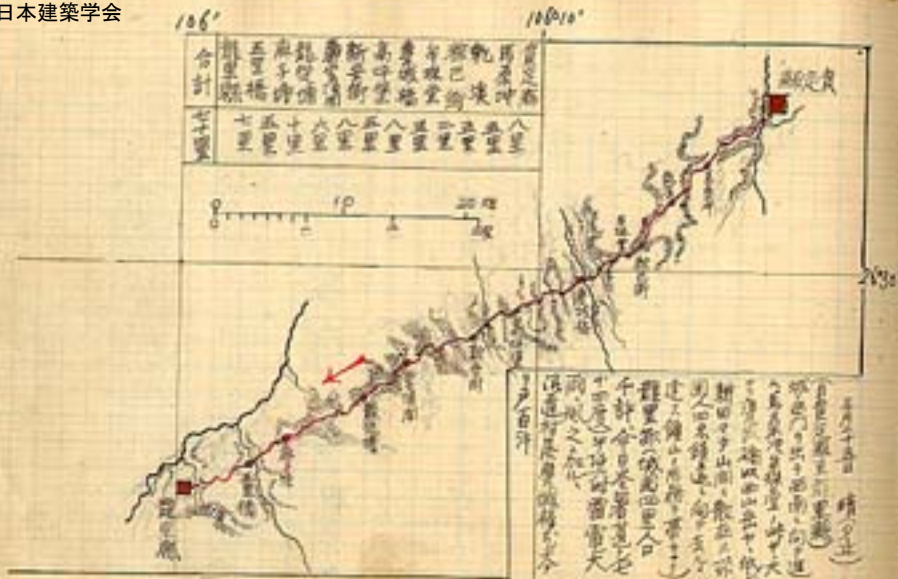


(自注) 本寺は...
 山頂...
 寺...
 山...
 寺...
 山...
 寺...
 山...
 寺...
 山...
 寺...
 山...
 寺...
 山...
 寺...

26°36'
144°5'



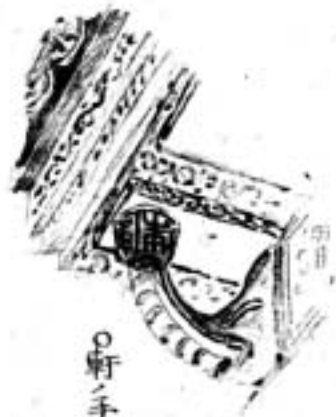
144°5'



直隸州... 平越州
 (三) 平越州
 直隸州... 平越州... 縣... 州...
 城四里余... 人口... 居ルト云フ
 物産ハ阿片... 木綿...
 (四) 貴定縣



谷子舖の童子



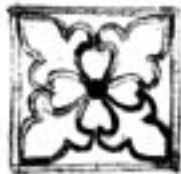
○軒手法



○正吻



コノ形古代より實用と來ヒルカ
法隆寺壁画ノ中ニモ見ヘタリ



破風ノ木尻

○忠烈宮
門ノ柱ノ礎ニ全ク印度的裝飾手法ナリ

○兩廣會館
別ニ見ルベキモノナレ

冠黄



宗榮之像



陽春之像

結扎双

○南岳山



高山式一刺





貴陽附近に慣用せらるる石欄
の種類

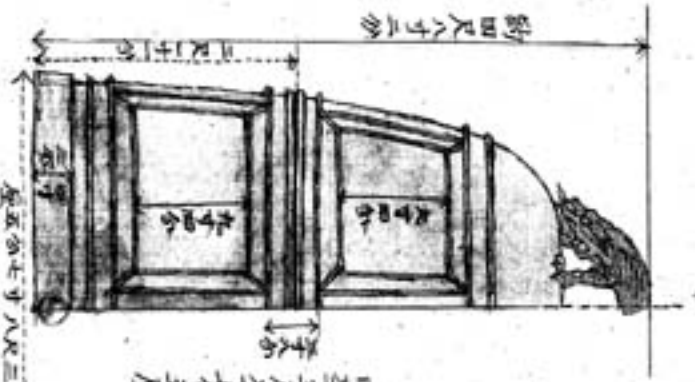
右へ全ク印度式ナルヲ見ルヘシ



△大雄宝殿前石欄

○萬佛寺
城南ニアリ、翠微閣アリ、
建築ニ見ルベキモノナシ、觀音堂内ニ金銅ノ仏舎
アリ、高サニテ許クサヤ、見ルベシ
○螺獅山、扶風寺
城東ニテ、王陽明、ニ居ルト云フ、陽明ノ像アリ





○銅鐘(康熙年間、製、傳雲南ヨリ來ル云々)
厚廿二寸分
口至三尺六寸七分五厘

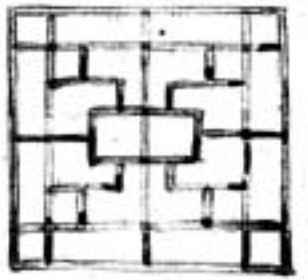
○黔陽山



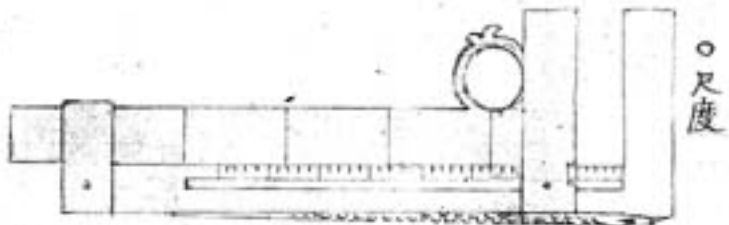
△大雄宝殿、叔迦、印相



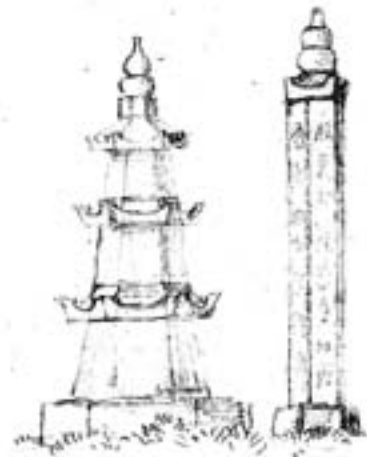
(雲南下志、阿彌陀十)



△銘
時始建國元年
正月癸酉
朔日制



尺大八寸五分
八寸五分
七寸五分
当



△塔婆、劍

貴陽	盤龍	都定	平越	普安	鎮遠	施秉	鎮遠	石屏	龍州	雙水	龍州	辰溪	辰溪	雲南	漢口
65	94	93	90	93	63	67	85	98	60	57	63	234	120	380	1270



西貝陽着之圖
 宜有山あり花あり春の貴陽城

第四冊 終

詳言之

古人云來百工則財用足
 刻不敵國之貧由於工藝之不
 振而欲工藝之振興應從
 何處下手請 先生為我



貴陽武備學堂之豪傑

高山公道
 金子新太郎
 鄒山猪之助
 清宮宗親
 木藤武考
 岡山源六

支那各地、海面上、高千 in meter (Stiebers Handatlas)

Shamo	200	貴陽	12005
Shamein	1710	重慶	260
大理	2030	貴州	1540
雲南	1950	FOIN	1220
叙州	330	四川	3070
嘉定	350	四川	3610
大山山	3350	四川	790
成都	458	四川	1230
打箭炉	2530	四川	1200
(打箭炉) 1830		四川	1340
茶店	1220	四川	9860
大同	1310	四川	1621
大原	850	四川	1290
北京	37		
河南	152		
潼關	344		
五塔山	3500?		

地名		味	清	明	元	金	遼	宋	唐	隋	中	漢
北平	宣武門外				宣武門	太平		宣武門	宣武門	宣武門	宣武門	宣武門
天津	法租界											
漢口	英租界											
廣州	沙面											
南京	神策門外											
長沙	都司巷											
福州	南台											
廈門	鼓浪嶼											
汕頭	永興街											
香港	皇后大道											
上海	四川路											
北京	正陽門											
天津	法租界											
漢口	法租界											
廣州	沙面											
南京	神策門外											
長沙	都司巷											
福州	南台											
廈門	鼓浪嶼											
汕頭	永興街											
香港	皇后大道											
上海	四川路											

支那各地、海面上、高千 in meter (Stiebers Handatlas)

支那名邑及其人口表 (人口一萬以上)

直隸省	山西省	河南省	陝西省	四川省
天津 570000	大同 25000	彰德 12000	西安 50000	錦州 15000
北京 700000		懷慶 15000	開封 10000	瀋陽 15000
保定 40000		開封 60000	漢中 30000	漢州 15000
正定 10000		開封 25000		新都 25000
宣化 15000		鄭州 10000		成都 270000
張家口 50000				嘉定 45000
通州 30000				叙州 40000
懷慶 10000				江安 12000
				合江 12000
				瀘州 25000
				江津 15000
				重慶 100000
				涪州 10000
				筠州 20000
				夔州 10000

湖北省	湖南省	貴州省	雲南省
宜昌 30000	岳州 10000	鎮遠 10000	雲南府 10000
沙市 60000	長沙 250000	貴陽 20000	
漢陽 60000	湘潭 300000	安順 40000	
漢口 400000	常德 50000		
武昌 100000	桃源 15000		
	辰州 12000		
	沅州 18000		

自重慶
至緬甸古建築及古金石表(西明以前)

○周 刑泰

名稱	所在地	備考	年代
	湖北武昌撫州方氏藏	湖北武昌	

○漢 刑三國

名稱	所在地	備考	年代
石碑	湖南長沙王臺內	石上	建安
全	全上	石上	光緒
全	全上	石上	道光
全	全上	石上	道光
全	全上	石上	道光
全	全上	石上	道光

(四川某地...)

○六朝

名稱	所在地	備考	年代
石佛	湖南長沙王臺內	石上	東魏

○隋

名稱	所在地	備考	年代

○唐

名稱	所在地	備考	年代
石佛	湖南長沙王臺內	石上	唐
大雄寶殿	湖南長沙王臺內	石上	唐

○宋

名稱	所在地	備考	年代

○元

名稱	所在地	備考	年代
殿	貴州安順府法王寺		元

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) 漢口開埠前 | (14) 費陽文廟/前面 |
| (2) 武昌洪山塔 | (15) 宗嘉長氏/家屋 |
| (3) 端方所建古銅塔 | (16) 研鏡亭/上堂 (二枚) |
| (4) " " 古石仏 | (17) 謝慎亭/卜教官 |
| (5) " " 古石仏 | (18) 李烈章/像 |
| (6) 漢陽忠王廟 | (19) 李氏/學堂員 |
| (7) " " 碑亭/新修橋 | (20) 全上 (門外) |
| (8) " " 歸原寺 | (21) 楊松欽/於江兩時人 |
| 香林/ 仙舟亭二種 | (22) 全上 |
| 香林/ 瑞方亭 | (23) 勝境閣/門 |
| 香林/ 重慶鎮/ 2. 蓮花宮 | (24) 雲南西溪 |
| 3. 三峽 | (25) 全東溪 |
| 4. 宜昌 | (26) " 南門/新橋 |
| 5. 瑞方古塔 | (27) " 五華亭/像 |
| 6. 全上 | (28) " 大德寺/塔 |
| (9) 辰州龍興寺大殿/殿 | (29) " 兩溪 |
| (10) 全. 大成殿 | (30) " 同進寺大殿/殿 |
| (11) 全. 知縣衙門/知縣(欠) | (31) " " " 外面 |
| (12) 山門/唐仙園人/家 | |
| (13) 費陽忠烈廟柱礎 | |

支那旅行里程表 (本誌北到南) (組(路線)以承)

自	經	至	陸路里	水路(里)	日		備考
					自	至	
北京	正山	北京	2061		35.6.1	35.7.6	湖南一里一...
北京	鄭州	鄭州	1530		35.8.5	35.8.29	湖南一里一...
鄭州	西陽	西安	1215		35.8.29	35.9.23	陝西一...
西安	開風	慶中	1070		35.9.22	35.10.13	
漢中	廣元	成都	1286		35.10.15	35.11.1	四川一...
成都	長文	大嶺山	540		35.11.11	35.11.17	
大嶺山		瀘州	200	360	35.11.26	35.11.26	
瀘州	瀘州	重慶		820	35.11.29	35.12.3	
重慶	重慶	宜昌		1890	35.12.13	35.12.26	湖北湖南一...
宜昌	宜昌	漢口		1400	35.12.28	35.12.31	
漢口		長沙		800	36.2.10	36.2.18	
長沙	長沙	常德		475	36.2.18	36.2.26	
常德	常德	沅州	734		36.2.1	36.2.13	
沅州	沅州	貴陽	828		36.3.18	36.3.26	
貴陽	貴陽	昆明	1152		36.4.2	36.4.22	
昆明	昆明	大理	915		36.4.27	36.5.9	
大理	大理	騰越	895		36.5	36.5	
騰越	騰越	保山			36.5	36.6	
保山		合計					

本誌北到南... 水路里程... 陸路里程... 備考...

Reference books:

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| Three Years in western China. | By Hsiao |
| The Yantse valley and beyond. | " Colquhoun |
| Across Chysel. | " Morrison |
| Through Yantse Gorges. | " Morrison |
| An Australian in China. | " Morrison |
| The Middle Kingdom. 2vol. | " Gabriel Bonvalot. |
| Across Tibet. 2vol. | " Henry Lansdell. |
| Chinese Central Asia. 2vol. | " Henry Lansdell. |
| History of art in Chaldea & Assyria. | " Walter Armstrong. |



沙市漢口間之圖

至	自	一月	二月	三月	四月
11	重慶	1	25	5	24
12	沙市	2	25	6	27
13	宜昌	3	25	7	28
14	萬縣	4	27	8	29
15	涪陵	5	26	9	30
16	涪州	6	27	10	31
17	涪州	7	28	11	1
18	涪州	8	29	12	2
19	涪州	9	30	13	3
20	涪州	10	31	14	4
21	涪州	11	1	15	5
22	涪州	12	2	16	6
23	涪州	13	3	17	7
24	涪州	14	4	18	8
25	涪州	15	5	19	9
26	涪州	16	6	20	10
27	涪州	17	7	21	11
28	涪州	18	8	22	12
29	涪州	19	9	23	13
30	涪州	20	10	24	14
31	涪州	21	11	25	15

(涪州-重慶=450, 涪州-沙市=360)

Bhamo - Teng-yach 161 里程

Bhamo - Myoffit (新店)	63 里	(say 21 miles)
Myoffit - Nampong (新店)	40 "	(" 15 ")
Nampong - peng-hsi (新店)	60 "	(" 20 ")
peng-hsi - Manyün (新店)	40 "	(" 13 ")
Manyün - Lung-chang-dich (新店)	60 "	(" 20 ")
Lung-chang-dich - Chiu-cheng (新店)	70 "	(" 30 ")
Chiu-cheng - Nam-tien (新店)	100 "	(" 33 ")
Nam-tien - Teng-yach (新店)	70 "	(" 30 ")

Total 573 (" 180 ")

中国人と苗人の結婚
伊東様
伊東先生

伊東先生
伊東君
伊東先生
伊東先生

伊東先生
伊東先生
伊東先生
伊東先生

伊東先生
伊東先生

沙市
市
大杉正之
中村金三
松平福綱

汽船會社(自漢口至宜昌)

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

大丸

清國

自重慶
至貴陽

第四卷

清國
自重慶
至貴陽
第四冊